

# 2014年度キャリア・就職支援への取り組み調査

2014年6月



- 内容 大学等のキャリア・就職支援の実態に関する調査
- 実施期間 2014年4月11日～2014年5月29日
- 調査対象 全国の大学・短期大学の就職支援担当部署・窓口
- 調査方法 アンケート用紙を全国の就職担当部署に弊社学校担当が配布の上、FAX若しくは直接回収。
- 回答属性データ

カテゴリー	国公立	私立	全体
学校別回答数	119	356	475
キャンパス別の回答数	6	25	31
総計	125	381	506

※キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各一回答として集計した。

学校所在地	国公立	私立	全体
北海道	13	25	38
東北	14	32	46
関東	26	148	174
甲信越	8	12	20
東海	8	43	51
北陸	7	10	17
関西	20	57	77
中国	10	22	32
四国	7	8	15
九州	12	24	36
総計	125	381	506

大学	495	短期大学	11
----	-----	------	----

## □質問事項

1)2015年卒向け就職ガイダンスについて	開催回数の増減 開催時期の変動	学生のトータル参加人数の増減・増減割合 就職ガイダンスの開始時期
2)2015年卒向け学内企業説明会について	開催日数の増減 開催時期の変動 参加企業数増減	学生のトータル参加人数の増減・増減割合 学内企業説明会の開始・終了時期 参加企業数平均
3)2015年卒向け採用広報を目的としない 企業を招いて実施する業界研究セミナーについて	開催回数の増減 開催時期の変動	学生のトータル参加人数の増減・増減割合 業界研究セミナーの開始時期
4)2015年卒向けの求人(票)の受付について	求人(票)の受付社数の増減 企業人事のキャリアセンターへの訪問件数増減	求人の依頼時期の変動
5)2015年卒他大学との協力について	合同会社説明会や就職対策講座の実施 開催時期の変動	実施回数の増減 主な取り組み内容
6)2016年卒向け就職ガイダンスの予定について	開催回数の増減 ガイダンスの開始時期	開催時期の変動
7)2016年卒向け学内企業説明会の予定について	開催回数の増減 招致企業への案内時期の変動	開催時期の変動 学内企業説明会の開始予定時期
8)2016年卒向け採用広報を目的としない 企業を招いて実施する業界研究セミナーについて	開催回数の増減	開催時期の変動
9)学生の相談件数	相談員の人数の増減	学生の相談件数の増減
10)保護者向けガイダンス	保護者向けガイダンスの有無 保護者向けガイダンスの内容	実施回数の増減 年間平均実施回数
11)2016年卒以降に採用広報活動開始時期が 3月に変更される際の影響予測について	4年生の授業出席率への影響 業界・職種・企業研究への影響 就職せずに卒業する学生数の増減予測 就職留年する学生数の増減予測 キャリアセンターの負荷	自己分析への影響 大手志向への影響 就職せず卒業する学生数増減の割合予測 就職留年する学生数増減の割合 内定率への影響
12)修士の進学試験日及び、 卒業生を輩出する時期について	文系修士試験開始時期 卒業生を輩出する時期	理系修士試験開始時期
13)低学年時からのキャリア教育について	キャリア教育の実施時期 キャリア教育の開始時期の変動	キャリア教育の回数の増減
14)インターンシップについて	インターンシップ受入れ企業数の増減 インターンシップ参加学生数の増減	インターンシップ受入れ企業数増減割合 インターンシップ参加学生の増減割合
15)グローバル人材について	外国人留学生の就職率増減 日本人学生向け人材育成のプログラム実施	留学経験のある日本人学生の就職率増減 実施プログラムの内容
16)自由記述	他大学との協力内容 スケジュール変更の際に実施する施策	特徴的だった保護者からの相談 2015卒、2016卒の就職支援についての意見

## □調査結果 概要

### ■1)2015年卒向け就職ガイダンスについて (P3-4)

学内就職ガイダンスの実施回数については、「増やした」が「減らした」を19.8pt上回り、全体では今年も増加傾向にある。学生の参加人数は「増えた」とする回答が前年比2.4pt増の24.9%となる一方で、国公立を中心に「減った」とする回答が前年比6.2pt増の15.1%と、ともに昨年より増加しており、増減幅は、減少で1-2割、増加では1-3割が中心となっている。開始時期については、4月～6月で約8割が開始している。

### ■2)2015年卒向け学内企業説明会について (P5-6)

学内の企業説明会は「増やした」が前年比4.0pt増の20.8%となり、引き続き増加傾向にある。開催開始時期において、国公立大学では76.0%が「12月」と一点に集中しているのに対し、私立大学は「12月」47.7%、「2月」24.0%とふたつの開始ピークが見られた。これは前年と同じ傾向だが、前年よりも「12月」と回答した割合が国公立、私立ともに上がっており、前倒して実施をしていることがわかる。

また、前年同様、参加企業数は「増えた」が「減った」を27.7pt上回る38.0%と増加傾向にある。学生のトータル動員数は「増えた」が前年比9.2pt増の36.6%、「減った」が11.9pt増の25.6%と、大学によって増減が分かれているようだ。

### ■3)2015年卒向け採用広報を目的としない業界研究セミナー (P7-8)

職業観涵養を目的とした業界研究等のセミナー開催は「増やした」大学が前年比2.2pt増の20.7%と、微増ながら引き続き増加傾向にある。一方、学生の動員については学内企業説明会同様、大学によって動員に差が出始めている。開始時期は「10月」「11月」の合計が全体で56.4%、私立で53.1%、国公立では67.8%となっており、広報活動開始前の2ヶ月間が開始のピークとなっている。

■4・5・9)2015年卒向け求人票受付について・他大学と合同で実施する合同企業説明会や就職対策講座、学生の相談件数について (P9-10、13)  
求人票の受付社数は、「多い」という回答が前年比10.5pt増の55.0%と企業の採用意欲の高さを示す結果となった。キャリアセンターに人事が訪問する件数も「前年より増えた」が前年比9.6pt増の36.0%と、はっきりと増加している。また、他大学と共同で実施した内容については、「合同企業説明会」が6割以上であった。学生の相談件数については、4割以上が「増加した」と答えた。

### ■6～8)2016年卒向け学内ガイダンス・業界研究セミナー・学内企業説明会の予定について (P11-13)

2016年卒向けの就職ガイダンスの開始予定時期はほぼ前年どおりで変化はない。一方、業界研究セミナーについては前年比19.3pt増の21.1%が「遅らせる」と回答。学内企業説明会に至っては前年比66.7pt増の67.7%の大学が「遅らせる」となり、広報活動開始時期の変更を反映した結果となった。学内企業説明会の時期については、全体で72.4%が「3月」としている。私立大学の開始のピークは、これまでの12月、2月までの2点のピークが無くなり、3月に集中している。

### ■10)保護者向けガイダンスについて (P14)

保護者向けガイダンスを実施している大学は前年比8.4pt増の56.1%と過半数の大学が実施している。

年間平均実施回数については、国公立1.4回、私立3.8回と大きく異なるが、実施回数を「増やした」割合は国公立大学に多く、国公立大学でも実施が進んでいることが窺える。

### ■11)2016年卒以降に採用広報活動開始時期が3月に変更される際の影響予測について (P15-16)

2016年卒に広報開始時期が後ろ倒しになった場合の影響予測は、概ね学生にマイナスの影響を及ぼすと考える大学担当が多いようだ。(自己分析「不十分になる」30.5%、業界・職種・企業研究「不十分になる」39.5%)。また、就職せずに卒業する学生が「増える」とする回答が48.4%、就職留年が「増える」とする回答が30.8%となっている。キャリアセンターの負荷については「増える」が前年比8.3pt増の67.4%と、具体的な対策(ガイダンスの実施や対応の内容)の決定に伴い、負担の増加を予想する大学が増えているようだ。

### ■12)修士の進学試験日及び、卒業生を輩出する時期の時期について (P17)

修士の進学試験については、文理ともに「夏休み期間」に試験が集中している。

その中でも、文系は国公立が8月、私立は9月が試験開始のピークとなっている。一方理系は、国公立は8月に開始のピークを迎えるのに対して、私立は7月と9月に開始のピークがあり、実施時期をずらして行われていることがわかる。卒業生を輩出する時期については、やはり、日本において一般的な3月と9月が多い。

### ■13)低学年時からのキャリア教育について (P18)

低学年時からのキャリア教育について、実施時期を早めている大学は10.6%であったが、遅くしている大学は無かった。

回数の増減についても、「増やしている」15.0%に対して「減らしている」0.2%であり、キャリア教育の低学年時からの推進は進んでいるようだ。開始の時期としては、80.2%が「大学1年(前期66.2%、後期14.0%)」からで、大学2年前半までには9割以上の大学がキャリア教育を開始していることがわかった。

### ■14)インターンシップについて (P19)

インターンシップの受入れ企業数が「増加」した大学は前年比13.3pt増の31.1%で、大幅に増加している。

その増加率は1～2割程度が多い。受入れ企業の増加に伴い、インターンシップ参加経験学生が「増加」した大学も前年比11.5pt増の35.6%となっている。

### ■15)グローバル人材について (P20)

現在日本人学生向けにグローバル人材育成のプログラムを実施している大学は前年比6.0pt増の57.1%と、実施している大学の割合は増えている。主なプログラムの内容として「英語で授業」「海外大学と単位互換」「海外インターンシップ」「留学を目的とした組織構築」「アクティブラーニングの導入」などが上位に挙げられた。特に「英語で授業」「アクティブラーニングの導入」はどちらも前年比12pt以上増加しており、力を入れている取り組みだといえる。国公立大学では、「産学連携の取り組み強化」「留学を目的とした組織構築」の2項目が、私立よりも約2割高いことも特徴的である。

■□本資料について□■ 資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 就職情報事業本部 HRリサーチセンター

TEL: 03(6267)4571 / E-mail: hrrc@mynavi.jp

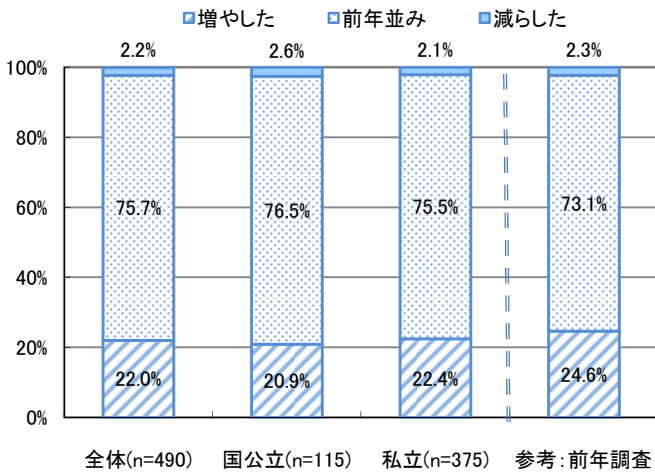
# 1) 2015年卒向け就職ガイダンスについて

開催回数の増減	全体(n=490)	国公立(n=115)	私立(n=375)	参考:前年調査
増やした	22.0%	20.9%	22.4%	24.6%
前年並み	75.7%	76.5%	75.5%	73.1%
減らした	2.2%	2.6%	2.1%	2.3%

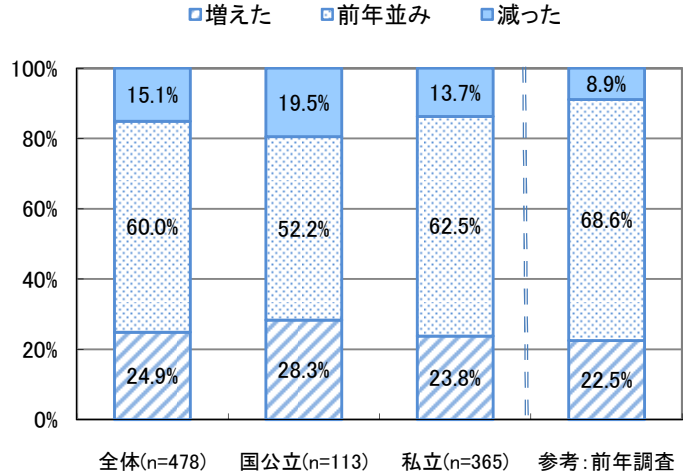
学生のトータル参加人数の増減	全体(n=478)	国公立(n=113)	私立(n=365)	参考:前年調査
増えた	24.9%	28.3%	23.8%	22.5%
前年並み	60.0%	52.2%	62.5%	68.6%
減った	15.1%	19.5%	13.7%	8.9%

学生のトータル参加人数の増減の割合	全体(n=133)	国公立(n=45)	私立(n=88)
6割～9割減少	0.8%	-	1.1%
5割減少	0.8%	2.2%	-
4割減少	-	-	-
3割減少	4.5%	4.4%	4.5%
2割減少	12.8%	15.6%	11.4%
1割減少	18.8%	17.8%	19.3%
1割増加	23.3%	26.7%	21.6%
2割増加	18.8%	17.8%	19.3%
3割増加	10.5%	11.1%	10.2%
4割増加	3.0%	4.4%	2.3%
5割増加	4.5%	-	6.8%
6割以上増加	2.3%	-	3.4%

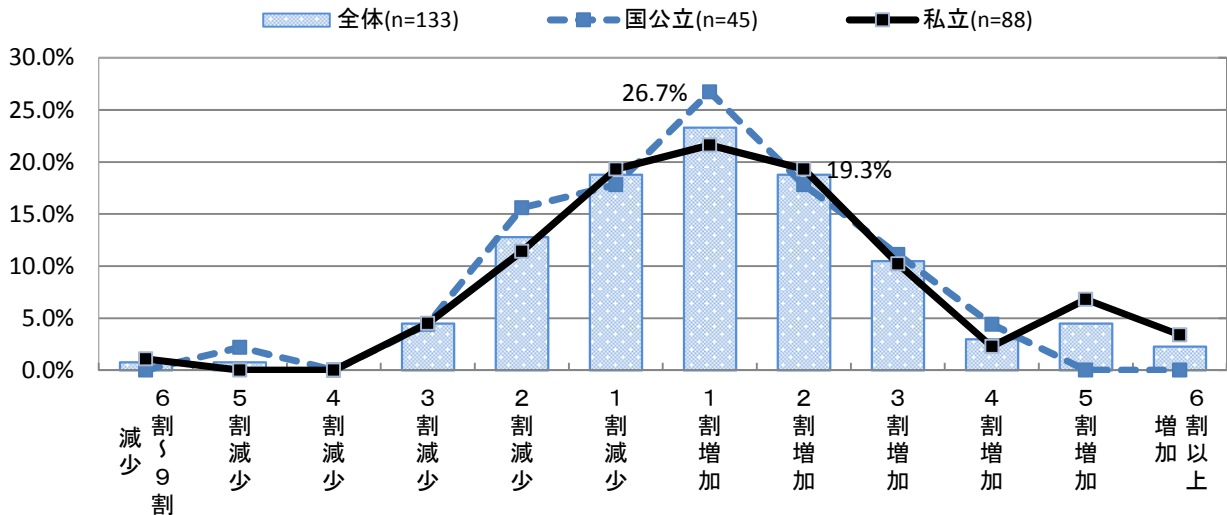
開催回数の増減



学生のトータル参加人数の増減



参加人数の増減の割合

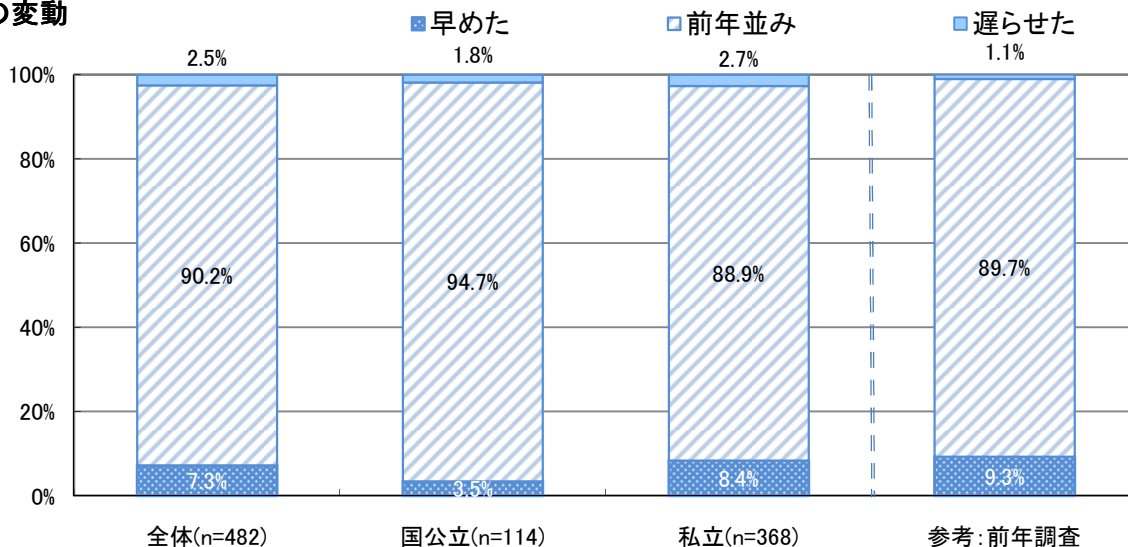


開催時期の変動	全体(n=482)	国公立(n=114)	私立(n=368)	参考:前年調査
早めた	7.3%	3.5%	8.4%	9.3%
前年並み	90.2%	94.7%	88.9%	89.7%
遅らせた	2.5%	1.8%	2.7%	1.1%

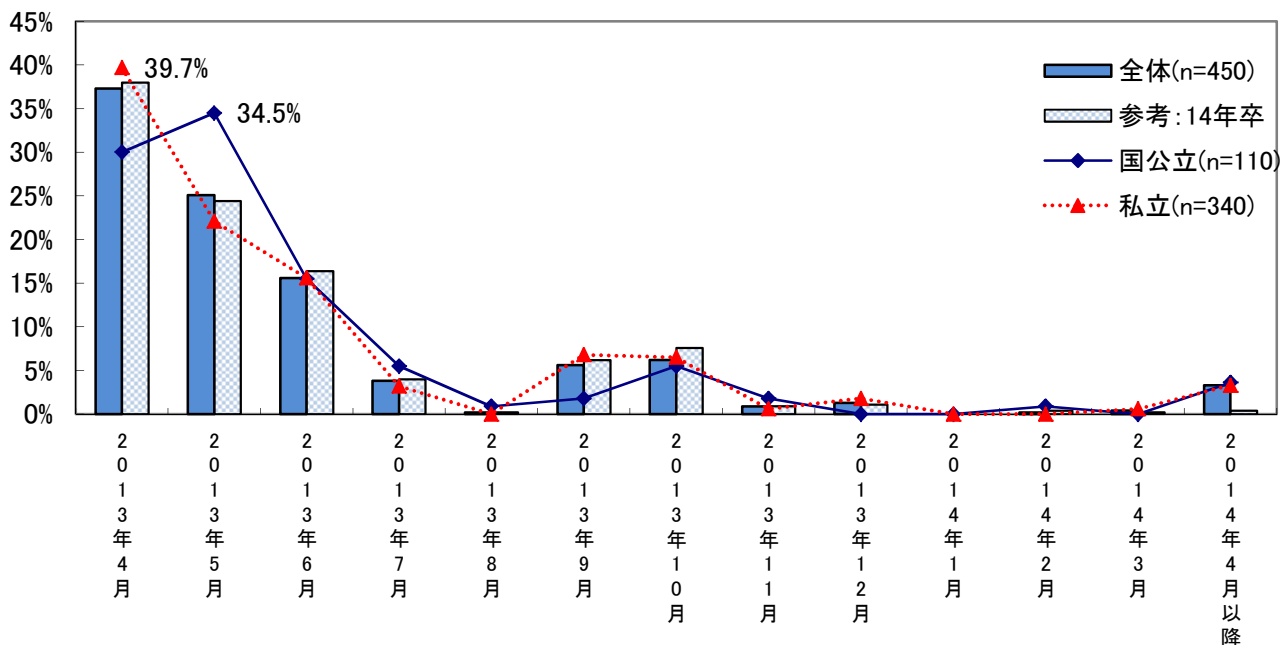
就職ガイダンスの開始時期	全体(n=450)	国公立(n=110)	私立(n=340)	参考:14年卒
2013年4月	37.3%	30.0%	39.7%	38.0%
2013年5月	25.1%	34.5%	22.1%	24.4%
2013年6月	15.6%	15.5%	15.6%	16.4%
2013年7月	3.8%	5.5%	3.2%	4.0%
2013年8月	0.2%	0.9%	-	0.2%
2013年9月	5.6%	1.8%	6.8%	6.2%
2013年10月	6.2%	5.5%	6.5%	7.6%
2013年11月	0.9%	1.8%	0.6%	0.9%
2013年12月	1.3%	-	1.8%	1.1%
2014年1月	-	-	-	0.0%
2014年2月	0.2%	0.9%	-	0.4%
2014年3月	0.4%	-	0.6%	0.2%
2014年4月以降	3.3%	3.6%	3.3%	0.4%

※補足※本誌内【14年卒】表記の数字は今調査において取得したデータである。2013年度調査におけるデータは【前年調査】と表記し区別する。

### 開催時期の変動



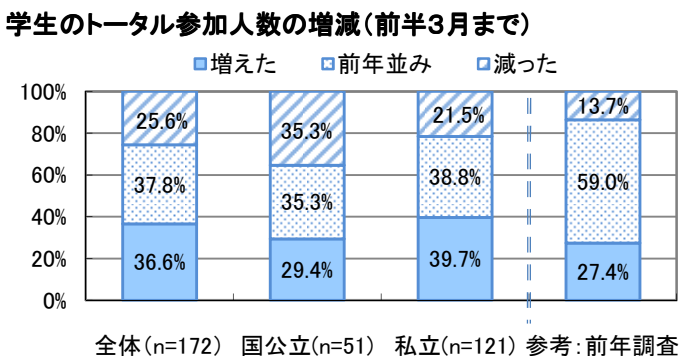
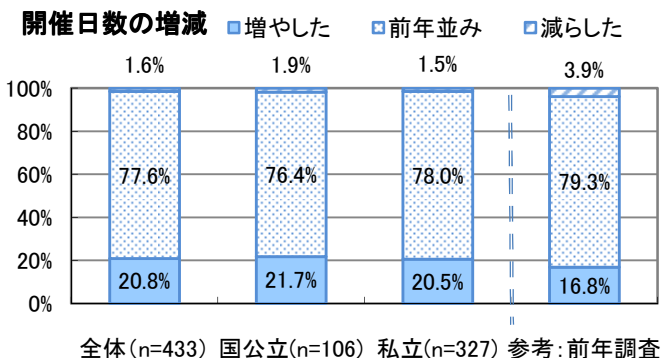
### 就職ガイダンスの開始時期



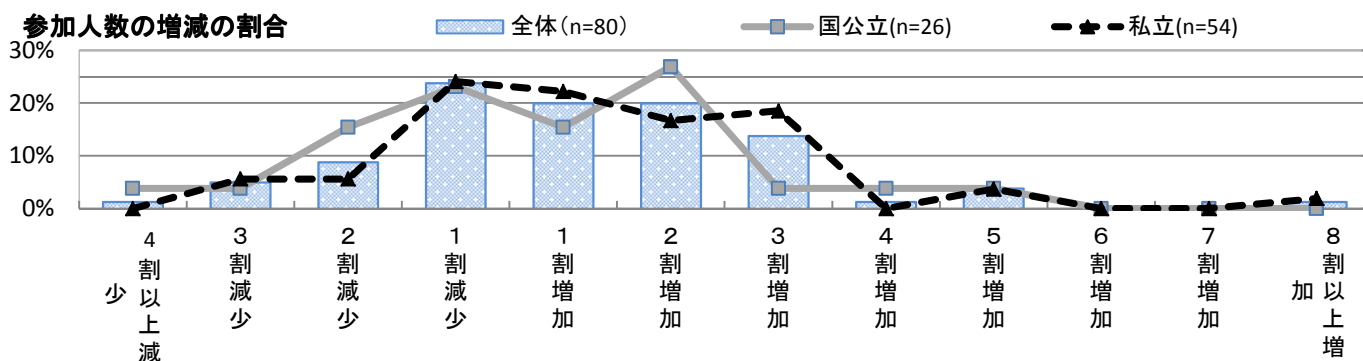
## 2) 2015年卒向け学内企業説明会について

開催日数の増減	全体 (n=433)	国公立 (n=106)	私立 (n=327)	参考: 前年調査
増やした	20.8%	21.7%	20.5%	16.8%
前年並み	77.6%	76.4%	78.0%	79.3%
減らした	1.6%	1.9%	1.5%	3.9%

学生のトータル参加人数の増減 (前半3月まで)	全体 (n=172)	国公立 (n=51)	私立 (n=121)	参考: 前年調査
増えた	36.6%	29.4%	39.7%	27.4%
前年並み	37.8%	35.3%	38.8%	59.0%
減った	25.6%	35.3%	21.5%	13.7%



学生のトータル参加人数の増減の割合	全体 (n=80)	国公立 (n=26)	私立 (n=54)
4割以上減少	1.3%	3.8%	-
3割減少	5.0%	3.8%	5.6%
2割減少	8.8%	15.4%	5.6%
1割減少	23.8%	23.1%	24.1%
1割増加	20.0%	15.4%	22.2%
2割増加	20.0%	26.9%	16.7%
3割増加	13.8%	3.8%	18.5%
4割増加	1.3%	3.8%	-
5割増加	3.8%	3.8%	3.7%
6割増加	-	-	-
7割増加	-	-	-
8割以上増加	1.3%	-	1.9%

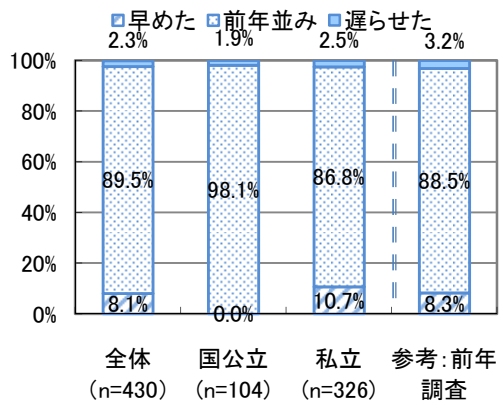


開催時期の変動	全体 (n=430)	国公立 (n=104)	私立 (n=326)	参考: 前年調査
早めた	8.1%	-	10.7%	8.3%
前年並み	89.5%	98.1%	86.8%	88.5%
遅らせた	2.3%	1.9%	2.5%	3.2%

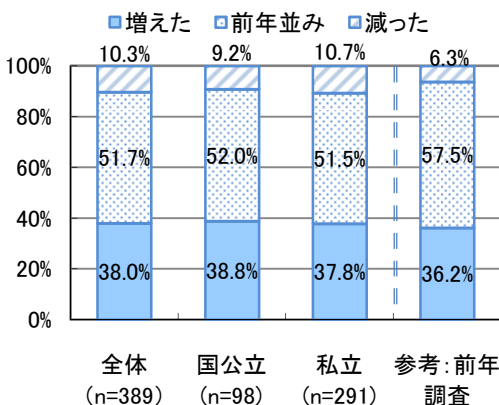
トータル参加企業数の増減 (前半3月まで)	全体 (n=389)	国公立 (n=98)	私立 (n=291)	参考: 前年調査
増えた	38.0%	38.8%	37.8%	36.2%
前年並み	51.7%	52.0%	51.5%	57.5%
減った	10.3%	9.2%	10.7%	6.3%

2015年卒向けの4月以降の開催日数増減	全体 (n=351)	国公立 (n=79)	私立 (n=272)	参考: 前年調査
増やす	17.1%	12.7%	18.4%	23.0%
前年並み	79.2%	82.3%	78.3%	72.3%
減らす	3.7%	5.1%	3.3%	4.8%

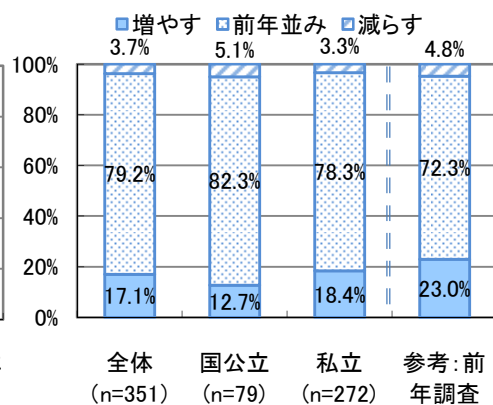
### 開催時期の変動



### トータル参加企業数の増減(前半3月まで)



### 4月以降の開催日数増減



### 学内企業説明会の開始時期

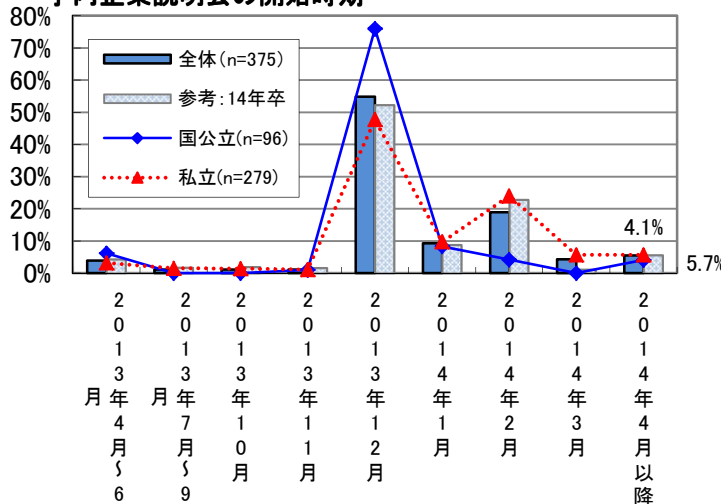
	全体 (n=375)	国公立 (n=96)	私立 (n=279)	参考: 14年卒
2013年4月～6月	3.9%	6.2%	3.2%	4.3%
2013年7月～9月	1.1%	-	1.5%	1.7%
2013年10月	1.1%	-	1.4%	1.9%
2013年11月	1.1%	1.0%	1.1%	1.6%
2013年12月	54.9%	76.0%	47.7%	52.3%
2014年1月	9.3%	8.3%	9.7%	8.8%
2014年2月	18.9%	4.2%	24.0%	22.8%
2014年3月	4.3%	-	5.7%	1.1%
2014年4月以降	5.5%	4.1%	5.7%	5.6%

※補足※本誌内【14年卒】表記の数字は今調査において取得したデータである。2013年度調査におけるデータは【前年調査】と表記し区別する。

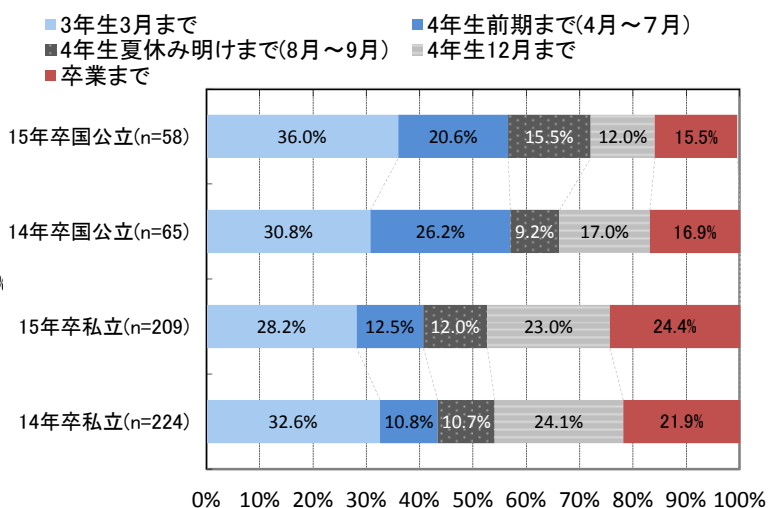
### 学内企業説明会の終了時期

	15年卒全体 (n=267)	15年卒国公立 (n=58)	14年卒国公立 (n=65)	15年卒私立 (n=209)	14年卒私立 (n=224)
3年生3月まで	29.9%	36.0%	30.8%	28.2%	32.6%
4年生前期まで(4月～7月)	14.3%	20.6%	26.2%	12.5%	10.8%
4年生夏休み明けまで(8月～9月)	12.7%	15.5%	9.2%	12.0%	10.7%
4年生12月まで	20.6%	12.0%	17.0%	23.0%	24.1%
卒業まで	22.5%	15.5%	16.9%	24.4%	21.9%

### 学内企業説明会の開始時期



### 学内企業説明会の終了時期



### 参加企業数の平均

	全体 (n=351)	国公立 (n=87)	私立 (n=264)
3年生、院1年の3月までに参加した企業数	150.4	169.0	146.0
4月以降の参加予定企業数	82.3	48.8	93.6
延べ企業数	232.7	217.8	239.6

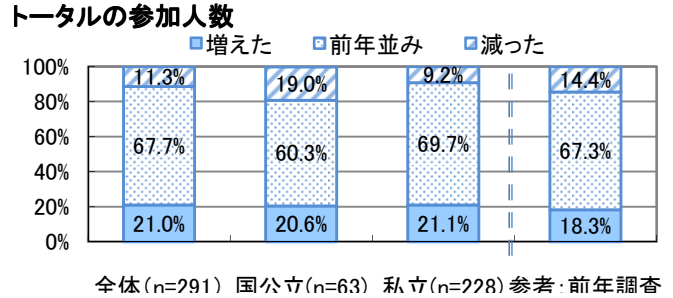
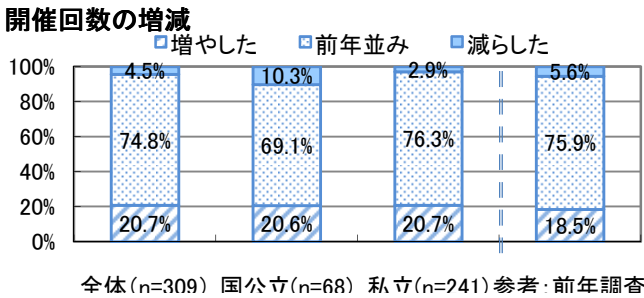
### ▼両方に回答したデータのみ集計

	全体 (n=280)	国公立 (n=63)	私立 (n=217)
3年生、院1年の3月までに参加した企業数	131.4	144.0	127.8
うち2015年卒から新たに参加した社数	21.9	27.4	20.4

### 3) 2015年卒向け採用広報を目的としない企業を招いて実施する業界研究セミナーについて

開催回数の増減	全体(n=309)	国公立(n=68)	私立(n=241)	参考:前年調査
増やした	20.7%	20.6%	20.7%	18.5%
前年並み	74.8%	69.1%	76.3%	75.9%
減らした	4.5%	10.3%	2.9%	5.6%

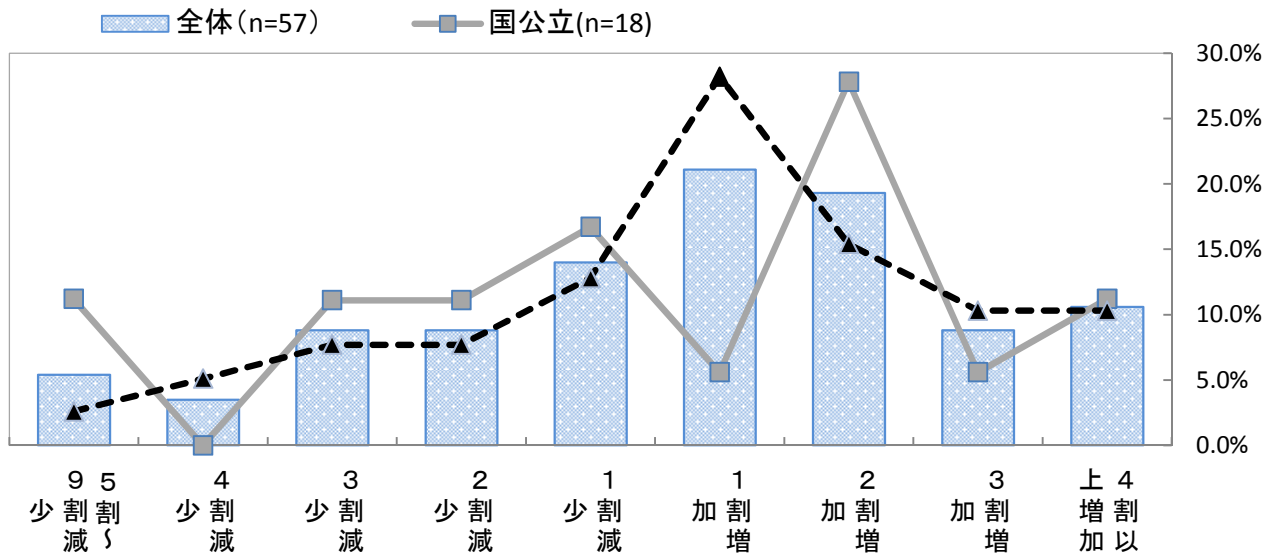
トータルの参加人数	全体(n=291)	国公立(n=63)	私立(n=228)	参考:前年調査
増えた	21.0%	20.6%	21.1%	18.3%
前年並み	67.7%	60.3%	69.7%	67.3%
減った	11.3%	19.0%	9.2%	14.4%



**トータル参加人数の増減の割合**

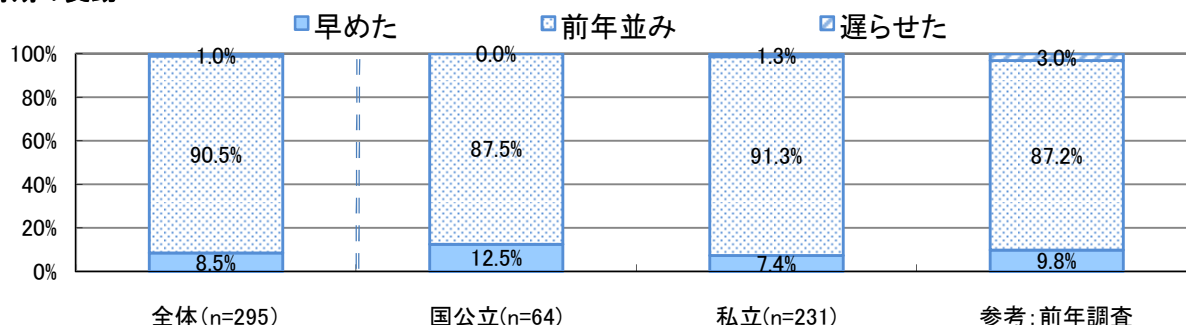
	全体(n=57)	国公立(n=18)	私立(n=39)
5割～9割減少	5.4%	11.2%	2.6%
4割減少	3.5%	-	5.1%
3割減少	8.8%	11.1%	7.7%
2割減少	8.8%	11.1%	7.7%
1割減少	14.0%	16.7%	12.8%
1割増加	21.1%	5.6%	28.2%
2割増加	19.3%	27.8%	15.4%
3割増加	8.8%	5.6%	10.3%
4割以上増加	10.6%	11.2%	10.3%

#### 参加人数の増減の割合



開催時期の変動	全体(n=295)	国公立(n=64)	私立(n=231)	参考:前年調査
早めた	8.5%	12.5%	7.4%	9.8%
前年並み	90.5%	87.5%	91.3%	87.2%
遅らせた	1.0%	-	1.3%	3.0%

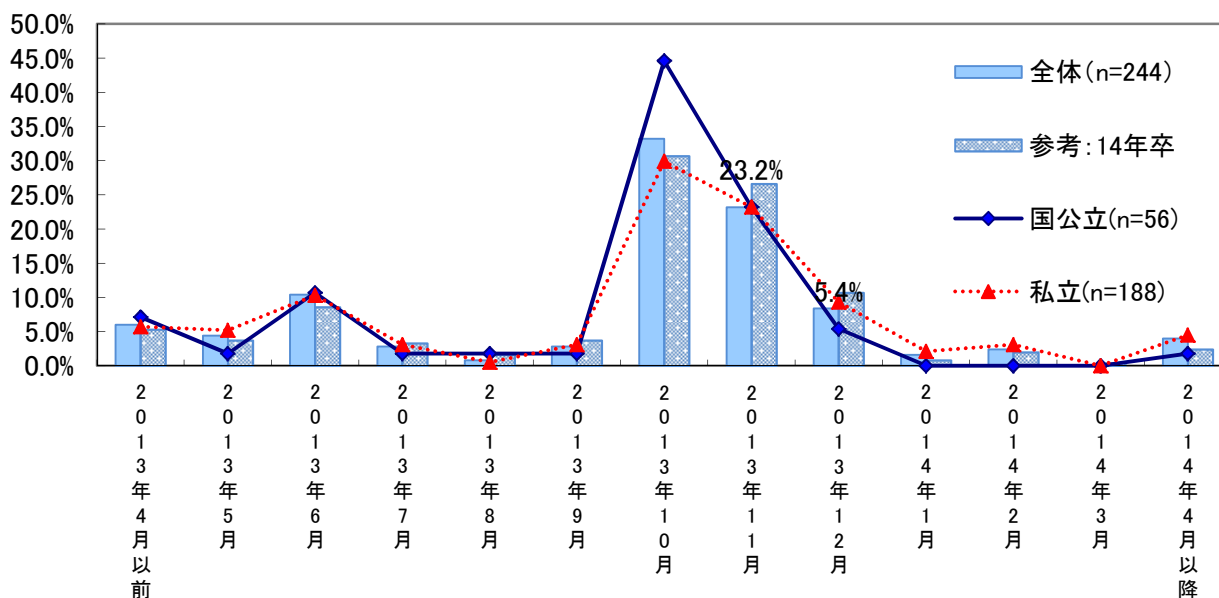
### 開催時期の変動



2015年卒向け業界研究セミナーの開始時期	全体(n=244)	国公立(n=56)	私立(n=188)	参考:14年卒
2013年4月以前	6.0%	7.1%	5.7%	5.3%
2013年5月	4.4%	1.8%	5.2%	3.7%
2013年6月	10.4%	10.7%	10.3%	8.6%
2013年7月	2.8%	1.8%	3.1%	3.3%
2013年8月	0.8%	1.8%	0.5%	1.6%
2013年9月	2.8%	1.8%	3.1%	3.7%
2013年10月	33.2%	44.6%	29.9%	30.7%
2013年11月	23.2%	23.2%	23.2%	26.6%
2013年12月	8.4%	5.4%	9.3%	10.7%
2014年1月	1.6%	-	2.1%	0.8%
2014年2月	2.4%	-	3.1%	2.0%
2014年3月	-	-	-	0.4%
2014年4月以降	4.0%	1.8%	4.5%	2.4%

※補足※本誌内【14年卒】表記の数字は今調査において取得したデータである。2013年度調査におけるデータは【前年調査】と表記し区別する。

### 2015年卒向け業界研究セミナーの開始時期





#### 4) 2015年卒向けの求人(票)の受付について

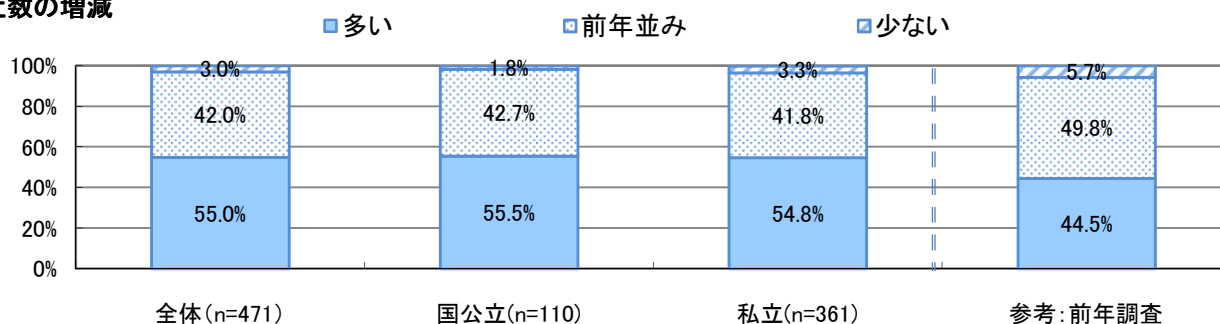
求人(票)の受付社数の増減	全体(n=471)	国公立(n=110)	私立(n=361)	参考:前年調査
多い	55.0%	55.5%	54.8%	44.5%
前年並み	42.0%	42.7%	41.8%	49.8%
少ない	3.0%	1.8%	3.3%	5.7%

求人の依頼時期の変動	全体(n=469)	国公立(n=110)	私立(n=359)	参考:前年調査
早めた	7.0%	6.4%	7.2%	6.4%
前年並み	92.3%	93.6%	91.9%	91.9%
遅くした	0.6%	-	0.8%	1.7%

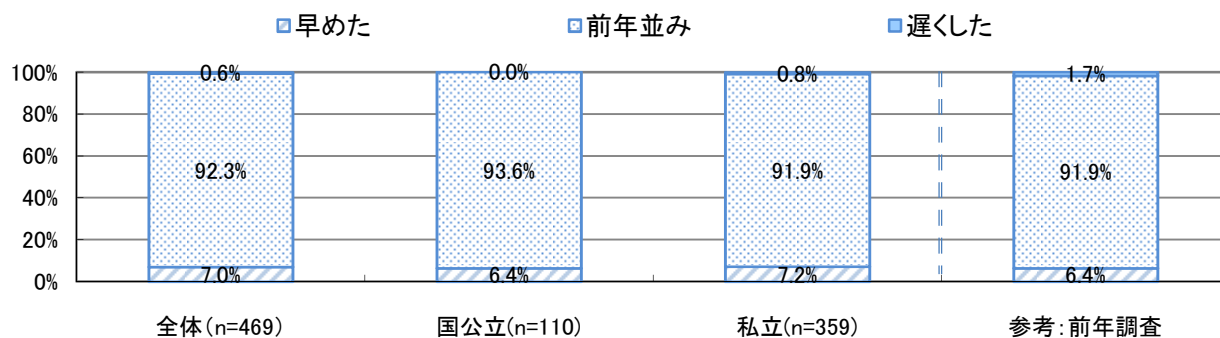
キャリアセンターに企業の人事が訪問する件数	全体(n=470)	国公立(n=110)	私立(n=360)	参考:前年調査
増えた	36.0%	40.0%	34.7%	26.4%
変わらない	62.3%	58.2%	63.6%	70.1%
減った	1.7%	1.8%	1.7%	3.5%

求人票の延べ受付社数	全体(n=320)	国公立(n=82)	私立(n=238)	(単位:社)
	2593.2	2473.7	2666.9	

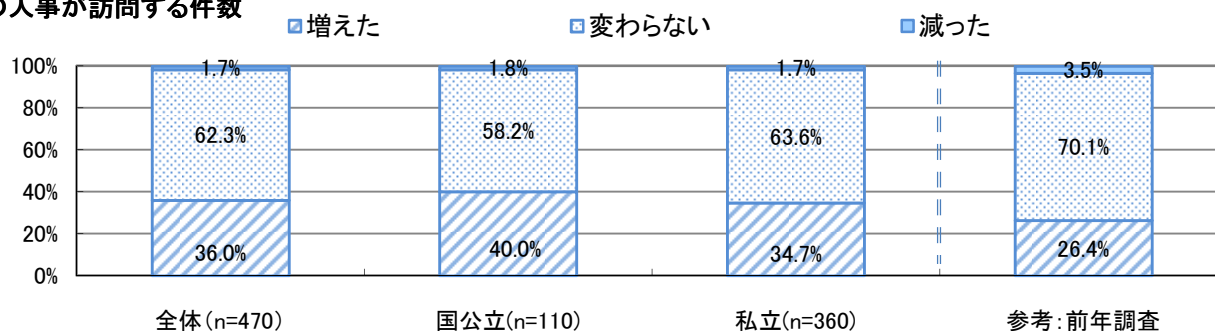
受付社数の増減



求人の依頼時期



企業の人事が訪問する件数

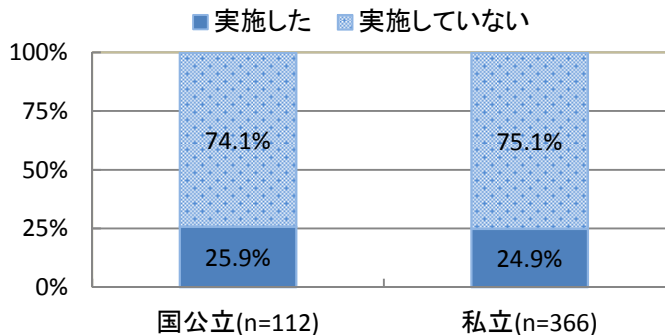
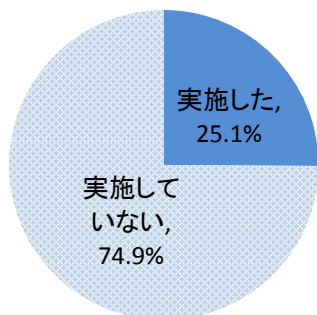


## 5) 2015年卒他大学との協力について

他大学と合同で会社説明会や就職対策講座を実施

	全体(n=478)	国公立(n=112)	私立(n=366)	参考:前年調査
実施した	25.1%	25.9%	24.9%	26.6%
実施していない	74.9%	74.1%	75.1%	73.4%

他大学と合同での  
説明会や講座の  
実施有無

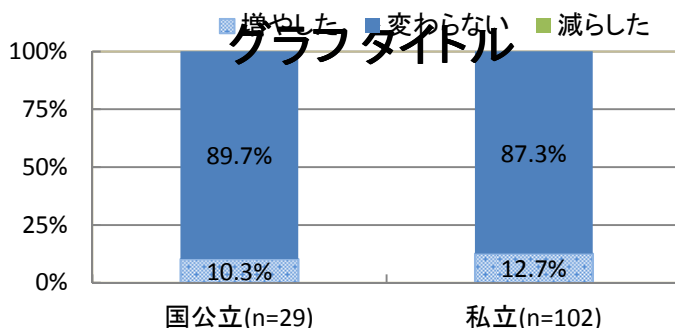
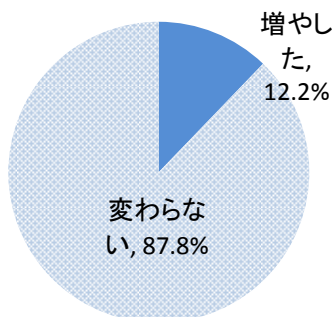


以下、実施大学のみ回答

合同会社説明会や就職対策講座の実施回数の増減

	全体(n=131)	国公立(n=29)	私立(n=102)	参考:前年調査
増やした	12.2%	10.3%	12.7%	17.5%
変わらない	87.8%	89.7%	87.3%	82.5%
減らした	-	-	-	-

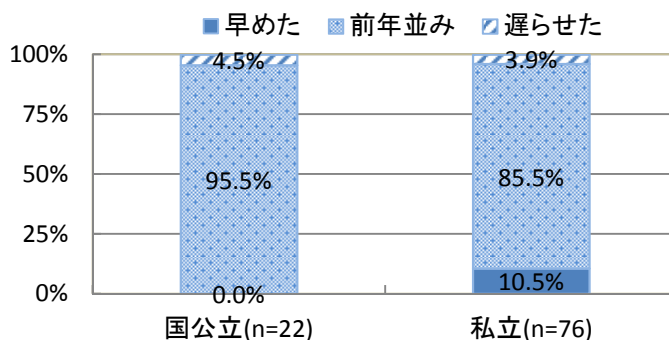
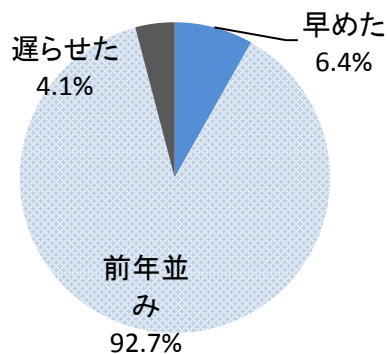
合同会社説明会や  
就職対策講座の  
実施回数



合同会社説明会や就職対策講座の開催時期の変動

	全体(n=98)	国公立(n=22)	私立(n=76)	参考:前年調査
早めた	8.2%	-	10.5%	6.4%
前年並み	87.8%	95.5%	85.5%	92.7%
遅らせた	4.1%	4.5%	3.9%	0.9%

合同会社説明会や  
就職対策講座の  
開催時期



合同で実施した内容(複数回答)

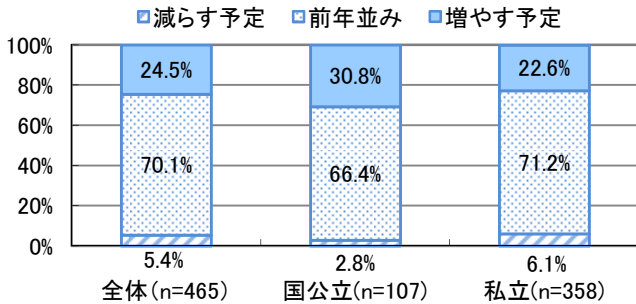
	全体(n=101)	国公立(n=25)	私立(n=76)
合同企業説明会	63.4%	60.0%	64.5%
模擬グループディスカッション	43.6%	32.0%	47.4%
模擬面接	8.9%	4.0%	10.5%
合宿	6.9%	20.0%	2.6%
その他	5.0%	8.0%	3.9%

## 6) 2016年卒向け就職ガイダンの予定について

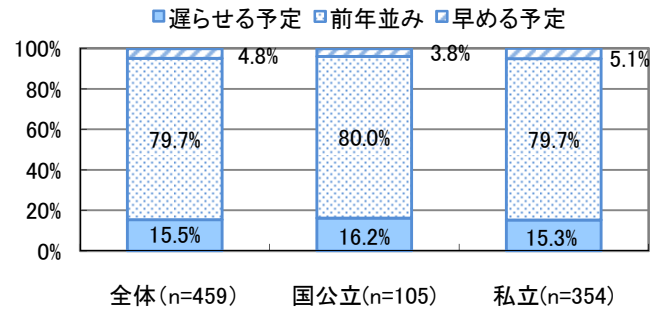
開催回数の増減	全体 (n=465)	国公立 (n=107)	私立 (n=358)	参考: 前年調査
増やす予定	24.5%	30.8%	22.6%	13.9%
前年並み	70.1%	66.4%	71.2%	78.2%
減らす予定	5.4%	2.8%	6.1%	7.9%

開催時期の変動	全体 (n=459)	国公立 (n=105)	私立 (n=354)	参考: 前年調査
早める予定	4.8%	3.8%	5.1%	8.9%
前年並み	79.7%	80.0%	79.7%	88.3%
遅らせる予定	15.5%	16.2%	15.3%	2.8%

### 開催回数の変動



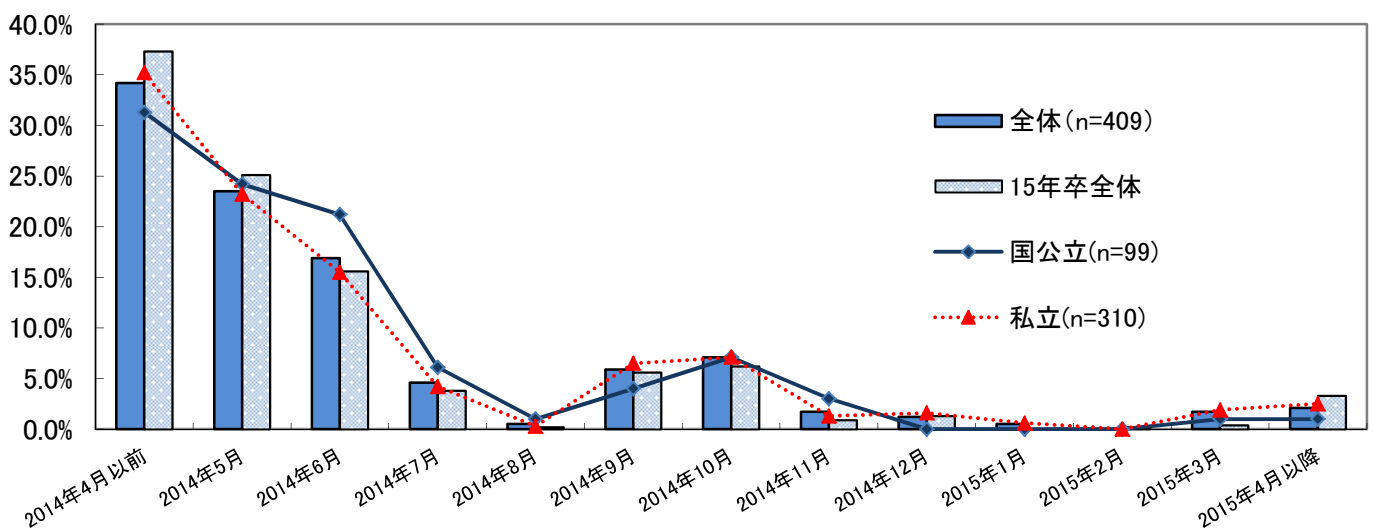
### 開催時期の変動



### 2016年卒向け就職ガイダンの開始予定時期

開始予定時期	全体 (n=409)	国公立 (n=99)	私立 (n=310)	15年卒全体
2014年4月以前	34.2%	31.3%	35.2%	37.3%
2014年5月	23.5%	24.2%	23.2%	25.1%
2014年6月	16.9%	21.2%	15.5%	15.6%
2014年7月	4.6%	6.1%	4.2%	3.8%
2014年8月	0.5%	1.0%	0.3%	0.2%
2014年9月	5.9%	4.0%	6.5%	5.6%
2014年10月	7.1%	7.1%	7.1%	6.2%
2014年11月	1.7%	3.0%	1.3%	0.9%
2014年12月	1.2%	-	1.6%	1.3%
2015年1月	0.5%	-	0.6%	-
2015年2月	-	-	-	0.2%
2015年3月	1.7%	1.0%	1.9%	0.4%
2015年4月以降	2.1%	1.0%	2.5%	3.3%

### 就職ガイダンの開始時期



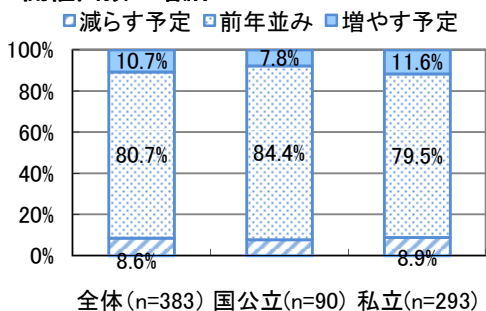
## 7) 2016年卒向け学内企業説明会の予定について

開催回数の増減	全体(n=383)	国公立(n=90)	私立(n=293)	参考:前年調査
増やす予定	10.7%	7.8%	11.6%	12.7%
前年並み	80.7%	84.4%	79.5%	85.3%
減らす予定	8.6%	7.8%	8.9%	2.0%

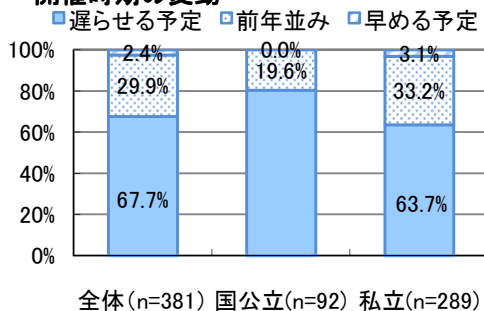
開催時期の変動	全体(n=381)	国公立(n=92)	私立(n=289)	参考:前年調査
早める予定	2.4%	-	3.1%	9.3%
前年並み	29.9%	19.6%	33.2%	89.5%
遅らせる予定	67.7%	80.4%	63.7%	1.3%

招致企業への案内時期の変動	全体(n=372)	国公立(n=87)	私立(n=285)	参考:前年調査
早める	11.3%	4.6%	13.3%	18.2%
変わらない	56.5%	50.6%	58.2%	80.7%
遅くする	32.3%	44.8%	28.4%	1.0%

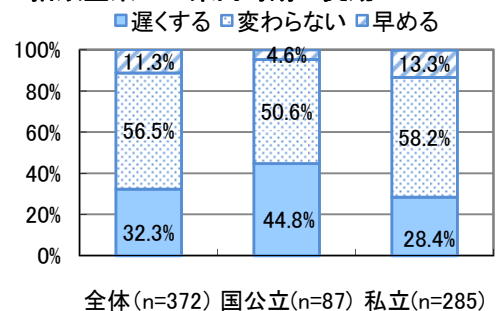
### 開催回数の増減



### 開催時期の変動



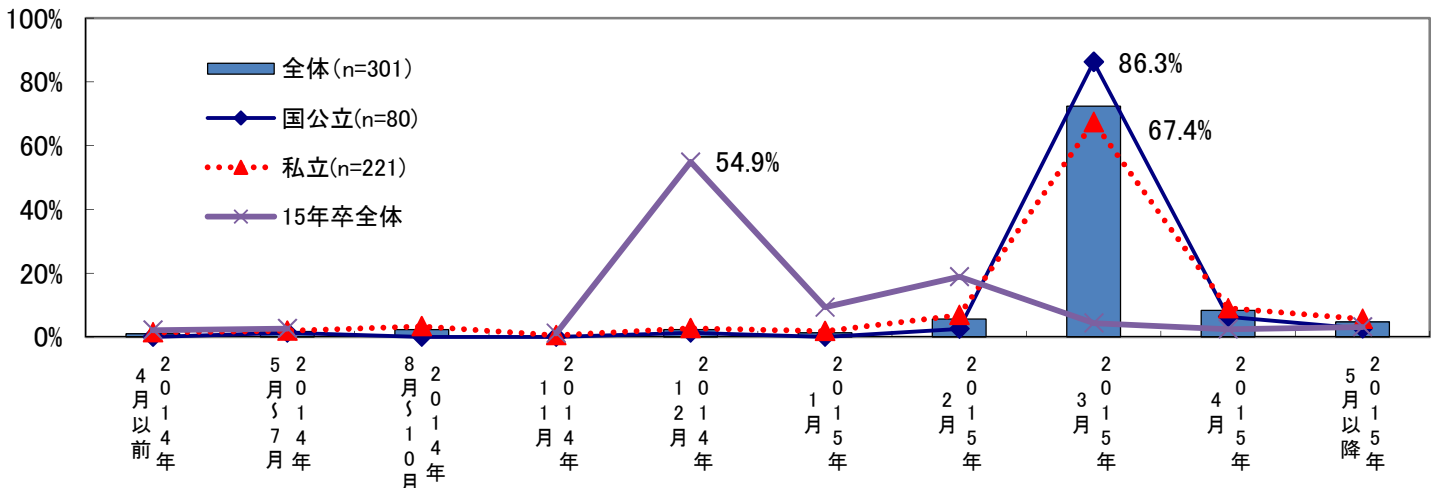
### 招致企業への案内時期の変動



### 学内企業説明会の開始予定時期

	全体(n=301)	国公立(n=80)	私立(n=221)	15年卒全体
2014年4月以前	1.0%	-	1.4%	2.1%
2014年5月	0.3%	-	0.5%	1.3%
2014年6月	0.7%	1.3%	0.5%	0.5%
2014年7月	0.7%	-	0.9%	0.8%
2014年8月	0.3%	-	0.5%	0.3%
2014年9月	0.3%	-	0.5%	-
2014年10月	1.7%	-	2.3%	1.1%
2014年11月	0.3%	-	0.5%	1.1%
2014年12月	2.3%	1.3%	2.7%	54.9%
2015年1月	1.3%	-	1.8%	9.3%
2015年2月	5.6%	2.5%	6.8%	18.9%
2015年3月	72.4%	86.3%	67.4%	4.3%
2015年4月	8.3%	6.3%	9.0%	2.4%
2015年5月以降	4.7%	2.6%	5.6%	3.1%

### 2016年卒向け学内企業説明会の開始時期

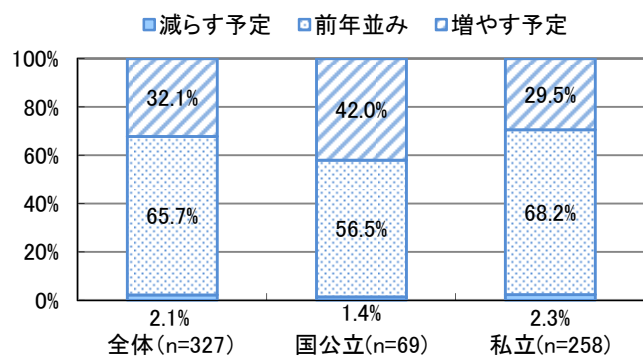


## 8) 2016年卒向け採用広報を目的としない企業を招いて実施する業界研究セミナーについて

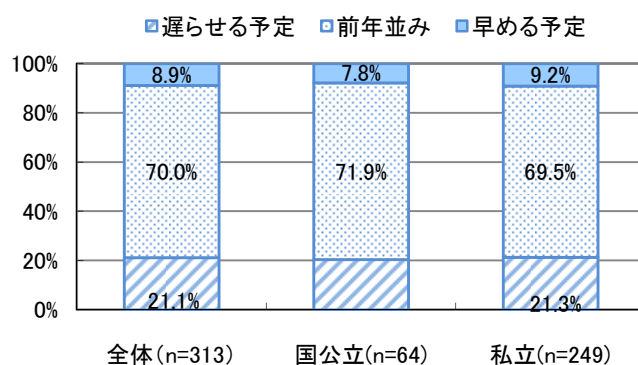
開催回数の増減	全体(n=327)	国公立(n=69)	私立(n=258)	参考:前年調査
増やす予定	32.1%	42.0%	29.5%	16.9%
前年並み	65.7%	56.5%	68.2%	80.7%
減らす予定	2.1%	1.4%	2.3%	2.4%

開催時期の変動	全体(n=313)	国公立(n=64)	私立(n=249)	参考:前年調査
早める予定	8.9%	7.8%	9.2%	11.3%
前年並み	70.0%	71.9%	69.5%	86.9%
遅らせる予定	21.1%	20.3%	21.3%	1.8%

開催回数の増減



開催時期の変動

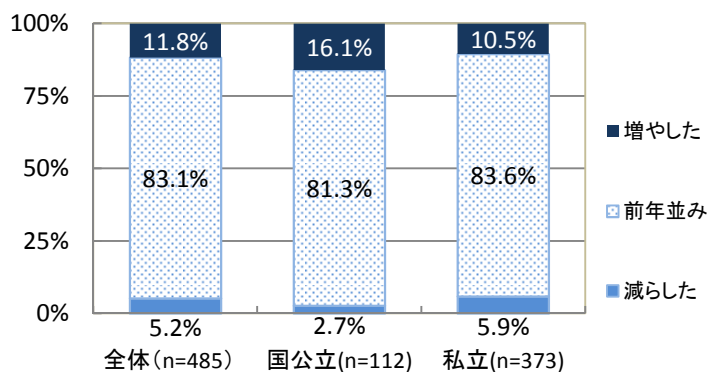


## 9) 学生の相談件数について

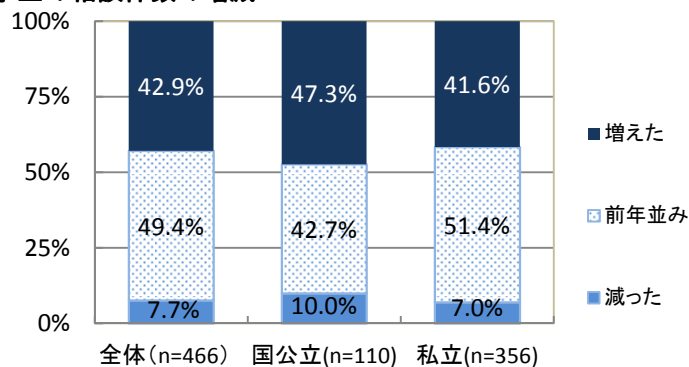
相談員の人数の増減	全体(n=485)	国公立(n=112)	私立(n=373)
増やした	11.8%	16.1%	10.5%
前年並み	83.1%	81.3%	83.6%
減らした	5.2%	2.7%	5.9%

学生の相談件数の増減	全体(n=466)	国公立(n=110)	私立(n=356)
増えた	42.9%	47.3%	41.6%
前年並み	49.4%	42.7%	51.4%
減った	7.7%	10.0%	7.0%

相談員の人数の増減



学生の相談件数の増減

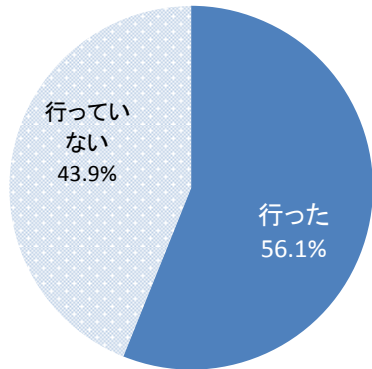


## 10) 保護者向けガイダンスについて

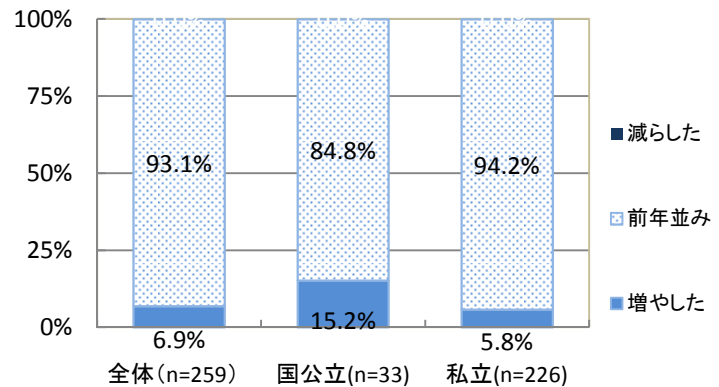
保護者向けガイダンスの有無	全体(n=476)	国公立(n=111)	私立(n=365)	参考:前年調査
行った	56.1%	30.6%	63.8%	47.7%
行っていない	43.9%	69.4%	36.2%	52.3%

実施回数の増減	全体(n=259)	国公立(n=33)	私立(n=226)
増やした	6.9%	15.2%	5.8%
前年並み	93.1%	84.8%	94.2%
減らした	0.0%	0.0%	0.0%

保護者向けガイダンスの有無



実施回数の増減

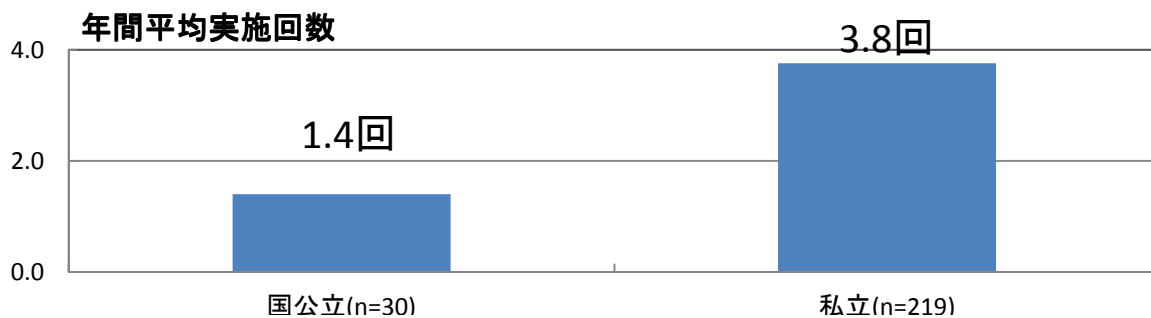


保護者向けガイダンスの内容

保護者向けガイダンスの内容	全体(n=76)	国公立(n=10)	私立(n=66)
自校の就職実績報告	90.8%	90.0%	90.9%
自校の就職支援内容	94.7%	90.0%	95.5%
最新の就職事情	89.5%	70.0%	92.4%
親から子への就活アドバイス方法	77.6%	40.0%	83.3%
親としての役割や役目	76.3%	40.0%	81.8%
就職に関する基礎情報(スケジュールや就活関連ワード)	71.1%	80.0%	69.7%
人事担当者の考え方や選考基準	32.9%	10.0%	36.4%
その他()	7.9%	20.0%	6.1%

保護者向けガイダンスの年間平均実施回数

保護者向けガイダンスの年間平均実施回数	全体(n=249)	国公立(n=30)	私立(n=219)
年間平均実施回数	3.5	1.4	3.8



# 11)2016年卒以降に採用広報活動開始時期が3月変更される際の影響予測について

## 4年生の授業出席率への影響

	全体(n=441)	国公立(n=104)	私立(n=337)	参考:前年調査
上がる	8.2%	5.8%	8.9%	13.0%
影響ない	61.5%	62.5%	61.1%	38.9%
下がる	30.4%	31.7%	30.0%	48.1%

## 自己分析への影響

	全体(n=439)	国公立(n=104)	私立(n=335)	参考:前年調査
分析が深まる	15.0%	12.5%	15.8%	15.7%
影響ない	54.4%	51.9%	55.2%	53.5%
不十分になる	30.5%	35.6%	29.0%	30.8%

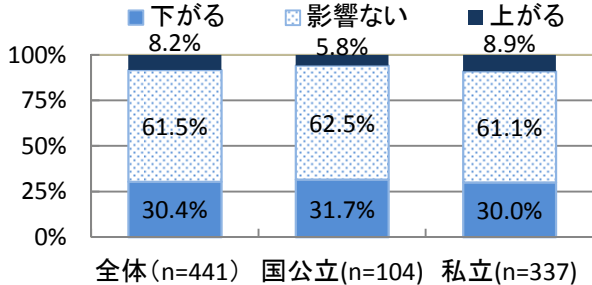
## 業界・職種・企業研究への影響

	全体(n=440)	国公立(n=104)	私立(n=336)	参考:前年調査
研究が深まる	17.0%	14.4%	17.9%	17.0%
影響ない	43.4%	39.4%	44.6%	37.9%
不十分になる	39.5%	46.2%	37.5%	45.0%

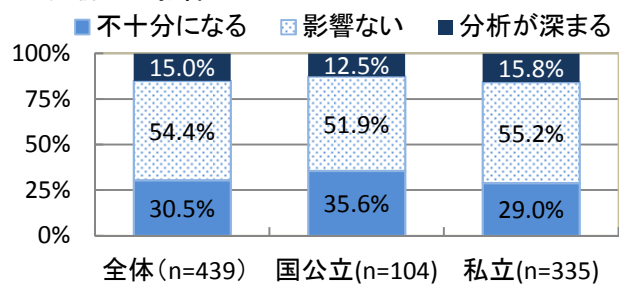
## 大手志向への影響

	全体(n=424)	国公立(n=101)	私立(n=323)	参考:前年調査
志向が強まる	22.9%	26.7%	21.7%	23.2%
影響ない	65.8%	65.3%	65.9%	65.8%
志向が弱まる	11.3%	7.9%	12.4%	11.0%

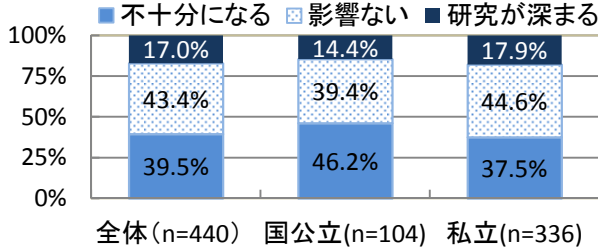
### 授業出席率への影響



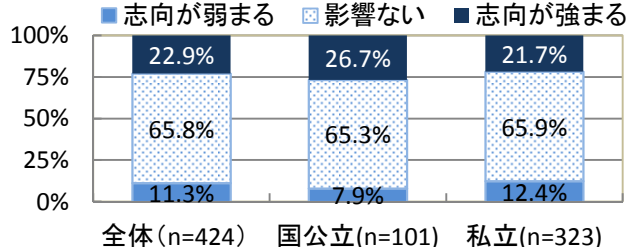
### 自己分析への影響



### 業界・職種・企業研究への影響



### 大手志向への影響



## 就職せず卒業する学生数の増減予測

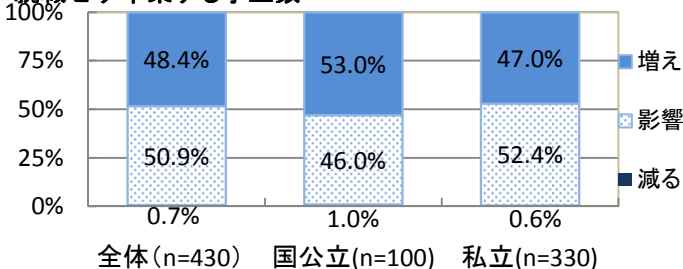
	全体(n=430)	国公立(n=100)	私立(n=330)
増える	48.4%	53.0%	47.0%
影響ない	50.9%	46.0%	52.4%
減る	0.7%	1.0%	0.6%

## 就職せず卒業する学生数増減の割合(予測)

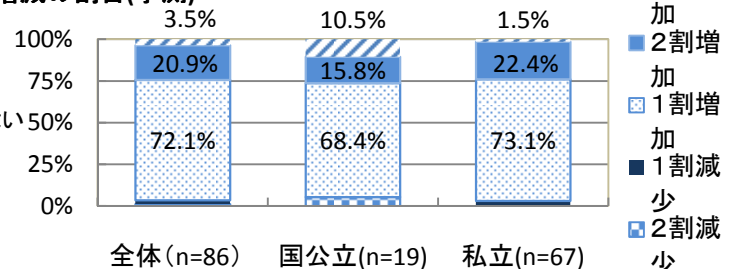
	全体(n=86)	国公立(n=19)	私立(n=67)
2割減少	1.2%	5.3%	-
1割減少	2.3%	-	3.0%
1割増加	72.1%	68.4%	73.1%
2割増加	20.9%	15.8%	22.4%
3割増加	3.5%	10.5%	1.5%

※増減に関してデータが無い場合は表記を省略

### 就職せず卒業する学生数



### 増減の割合(予測)

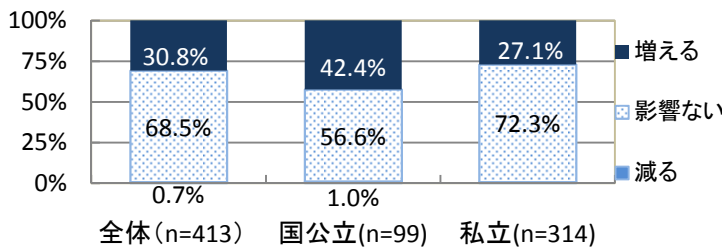


就職留年する学生数の増減予測	全体 (n=413)	国公立 (n=99)	私立 (n=314)	参考: 前年調査
増える	30.8%	42.4%	27.1%	31.4%
影響ない	68.5%	56.6%	72.3%	67.9%
減る	0.7%	1.0%	0.6%	0.7%

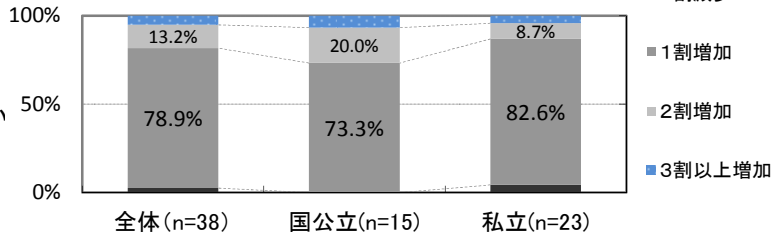
就職留年する学生数増減の割合	全体 (n=38)	国公立 (n=15)	私立 (n=23)
1割減少	2.6%	-	4.3%
1割増加	78.9%	73.3%	82.6%
2割増加	13.2%	20.0%	8.7%
3割以上増加	5.2%	6.7%	4.3%

※増減に関してデータが無い場合は表記を省略

### 就職留年する学生数の増減予測



### 増減の割合(予測)



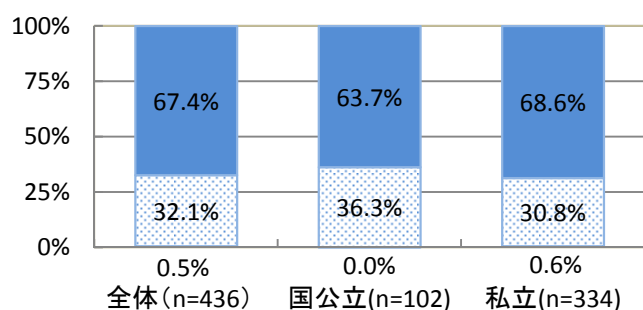
### キャリアセンターの負荷

キャリアセンターの負荷	全体 (n=436)	国公立 (n=102)	私立 (n=334)	参考: 前年調査
増える	67.4%	63.7%	68.6%	59.1%
影響ない	32.1%	36.3%	30.8%	38.3%
減る	0.5%	-	0.6%	2.5%

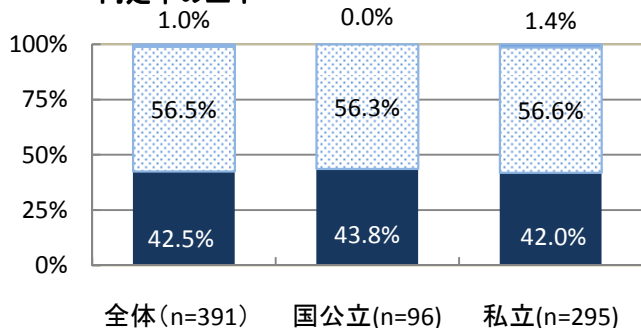
### 内定率は

内定率は	全体 (n=391)	国公立 (n=96)	私立 (n=295)
上がる	1.0%	-	1.4%
影響ない	56.5%	56.3%	56.6%
下がる	42.5%	43.8%	42.0%

### キャリアセンターの負荷



### 内定率の上下





## 12) 修士の進学試験日及び、卒業生輩出の時期について

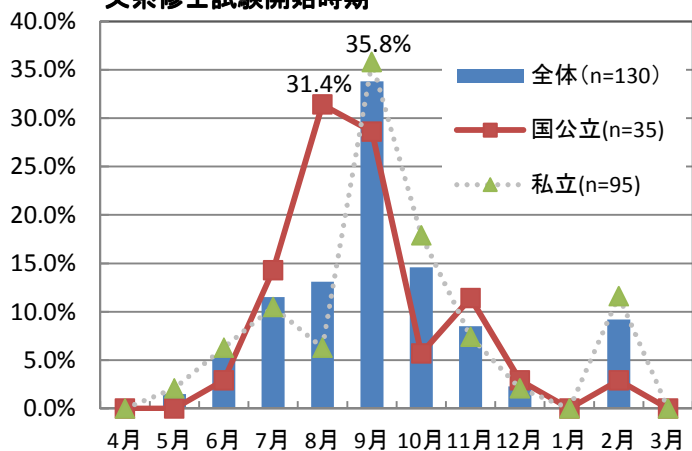
文系大学院修士試験の開始時期

	全体(n=130)	国公立(n=35)	私立(n=95)
4月	-	-	-
5月	1.5%	-	2.1%
6月	5.4%	2.9%	6.3%
7月	11.5%	14.3%	10.5%
8月	13.1%	31.4%	6.3%
9月	33.8%	28.6%	35.8%
10月	14.6%	5.7%	17.9%
11月	8.5%	11.4%	7.4%
12月	2.3%	2.9%	2.1%
1月	-	-	-
2月	9.2%	2.9%	11.6%
3月	-	-	-

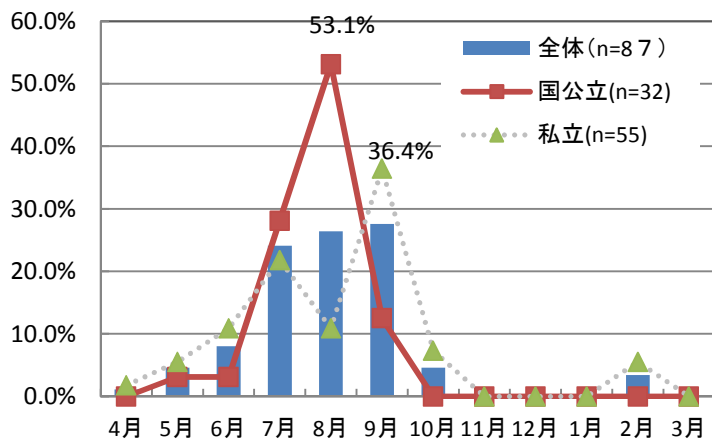
理系大学院修士試験の開始時期

	全体(n=87)	国公立(n=32)	私立(n=55)
4月	1.1%	-	1.8%
5月	4.6%	3.1%	5.5%
6月	8.0%	3.1%	10.9%
7月	24.1%	28.1%	21.8%
8月	26.4%	53.1%	10.9%
9月	27.6%	12.5%	36.4%
10月	4.6%	-	7.3%
11月	-	-	-
12月	-	-	-
1月	-	-	-
2月	3.4%	-	5.5%
3月	-	-	-

文系修士試験開始時期



理系修士試験開始時期



卒業生を輩出する時期

	全体(n=313)	国公立(n=86)	私立(n=227)
1月	-	-	-
2月	0.3%	-	0.4%
3月	98.1%	97.7%	98.2%
4月	1.3%	2.3%	0.9%
5月	0.3%	-	0.4%
6月	1.9%	5.8%	0.4%
7月	0.6%	2.3%	-
8月	1.3%	1.2%	1.3%
9月	71.9%	83.7%	67.4%
10月	1.0%	-	1.3%
11月	0.3%	1.2%	-
12月	1.6%	4.7%	0.4%

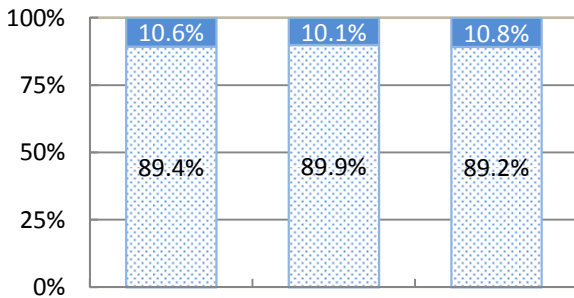
### 13) 低学年時からのキャリア教育について

キャリア教育の実施時期の変動	全体 (n=433)	国公立(n=99)	私立(n=334)	参考:前年調査
早めている	10.6%	10.1%	10.8%	8.7%
前年並み	89.4%	89.9%	89.2%	91.1%
遅くしている	-	-	-	0.2%

キャリア教育の回数の増減	全体 (n=413)	国公立(n=96)	私立(n=317)	参考:前年調査
増やしている	15.0%	12.5%	15.8%	12.8%
前年並み	84.7%	86.5%	84.2%	87.0%
減らしている	0.2%	1.0%	-	0.2%

キャリア教育の実施時期

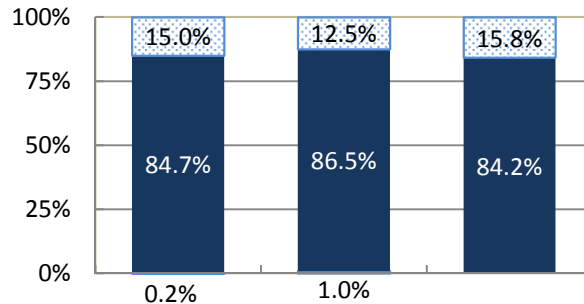
■遅くしている □前年並み ■早めている



全体 (n=433) 国公立 (n=99) 私立 (n=334)

キャリア教育の回数の増減

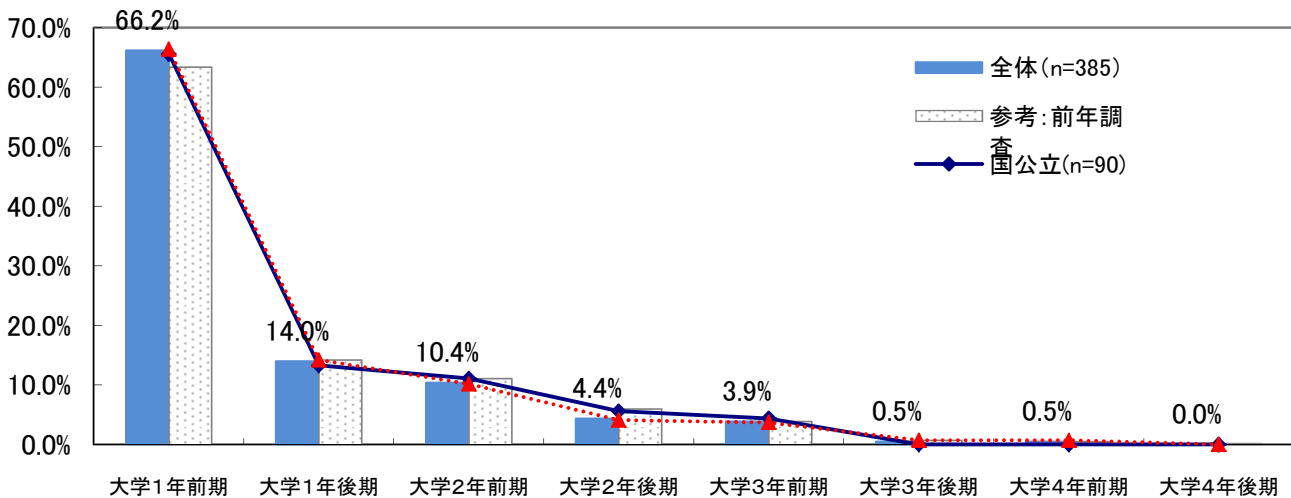
■減らしている ■前年並み □増やしている



全体 (n=413) 国公立 (n=96) 私立 (n=317)

キャリア教育の開始時期の変動	全体 (n=385)	国公立(n=90)	私立(n=295)	参考:前年調査
大学1年前期	66.2%	65.6%	66.4%	63.4%
大学1年後期	14.0%	13.3%	14.2%	14.2%
大学2年前期	10.4%	11.1%	10.2%	11.1%
大学2年後期	4.4%	5.6%	4.1%	6.0%
大学3年前期	3.9%	4.4%	3.7%	3.9%
大学3年後期	0.5%	-	0.7%	0.7%
大学4年前期	0.5%	-	0.7%	0.5%
大学4年後期	-	-	-	0.2%

キャリア教育の開始時期の変動



### 14) インターンシップについて

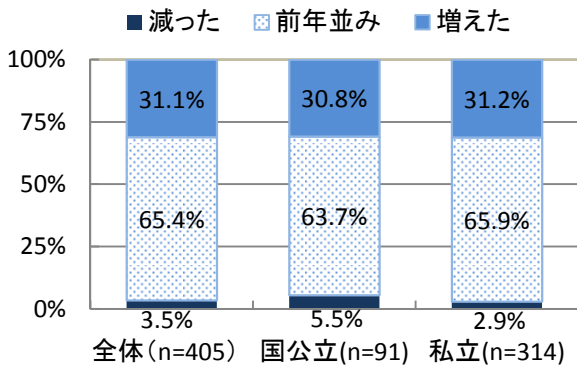
#### インターンシップ受入れ企業数の増減

	全体(n=405)	国公立(n=91)	私立(n=314)	参考:前年調査
増えた	31.1%	30.8%	31.2%	17.8%
前年並み	65.4%	63.7%	65.9%	78.0%
減った	3.5%	5.5%	2.9%	4.2%

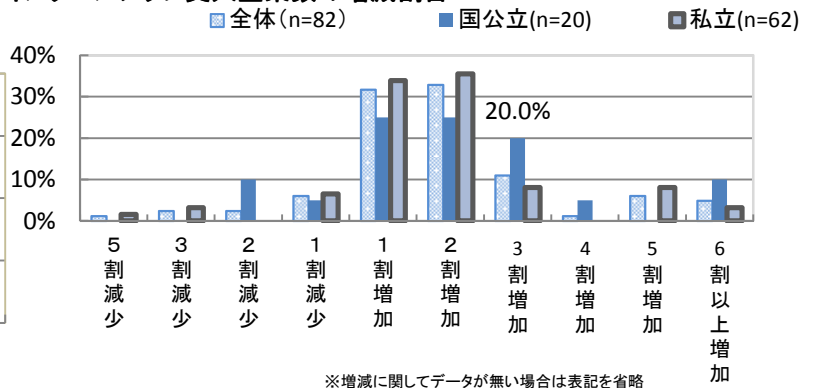
#### インターンシップ受け入れ企業数の増減割合

	全体(n=82)	国公立(n=20)	私立(n=62)
5割減少	1.2%	-	1.6%
3割減少	2.4%	-	3.2%
2割減少	2.4%	10.0%	-
1割減少	6.1%	5.0%	6.5%
1割増加	31.7%	25.0%	33.9%
2割増加	32.9%	25.0%	35.5%
3割増加	11.0%	20.0%	8.1%
4割増加	1.2%	5.0%	-
5割増加	6.1%	-	8.1%
6割以上増加	4.9%	10.0%	3.2%

#### インターンシップ受入企業数



#### インターンシップ受入企業数の増減割合



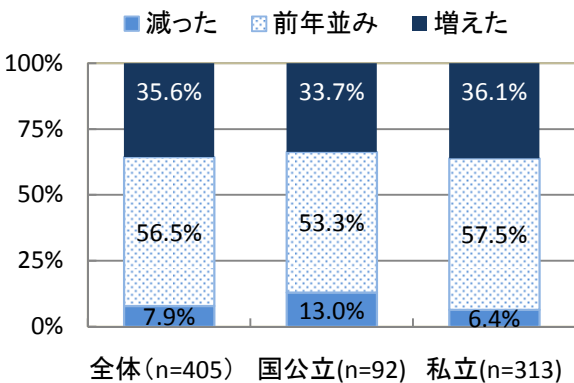
#### インターンシップ参加学生数の増減

	全体(n=405)	国公立(n=92)	私立(n=313)	参考:前年調査
増えた	35.6%	33.7%	36.1%	24.1%
前年並み	56.5%	53.3%	57.5%	68.1%
減った	7.9%	13.0%	6.4%	7.7%

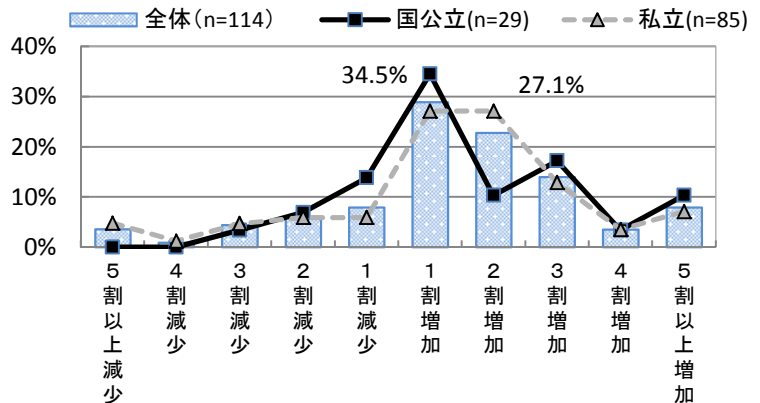
#### インターンシップ参加学生数の増減割合

	全体(n=114)	国公立(n=29)	私立(n=85)
5割以上減少	3.6%	-	4.8%
4割減少	0.9%	-	1.2%
3割減少	4.4%	3.4%	4.7%
2割減少	6.1%	6.9%	5.9%
1割減少	7.9%	13.8%	5.9%
1割増加	28.9%	34.5%	27.1%
2割増加	22.8%	10.3%	27.1%
3割増加	14.0%	17.2%	12.9%
4割増加	3.5%	3.4%	3.5%
5割以上増加	7.9%	10.3%	7.1%

#### インターンシップ参加学生数の増減



#### インターンシップ参加学生数の増減割合

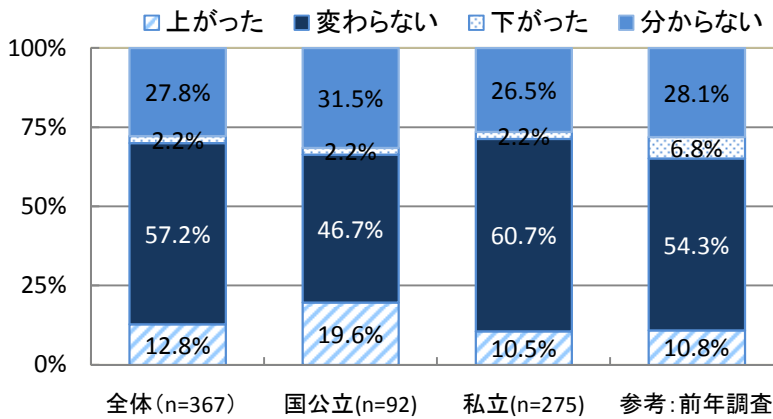


## 15) グローバル人材について

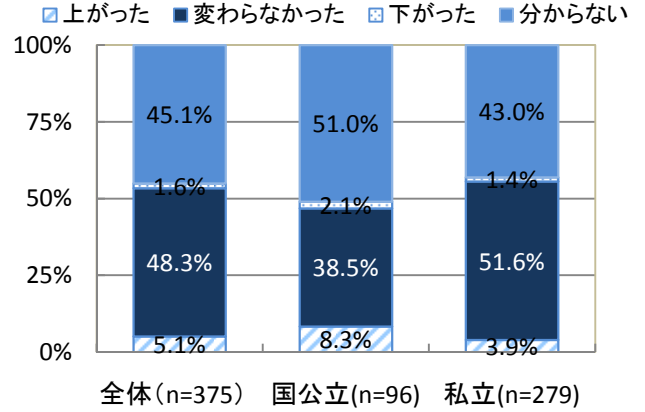
2014年卒の外国人留学生の就職率増減	全体(n=367)	国公立(n=92)	私立(n=275)	参考:前年調査
上がった	12.8%	19.6%	10.5%	10.8%
変わらない	57.2%	46.7%	60.7%	54.3%
下がった	2.2%	2.2%	2.2%	6.8%
分からない	27.8%	31.5%	26.5%	28.1%

2014年卒の留学経験のある日本人学生の就職率増減	全体(n=375)	国公立(n=96)	私立(n=279)
上がった	5.1%	8.3%	3.9%
変わらなかった	48.3%	38.5%	51.6%
下がった	1.6%	2.1%	1.4%
分からない	45.1%	51.0%	43.0%

外国人留学生の就職率増減



留学経験のある日本人学生の就職率増減

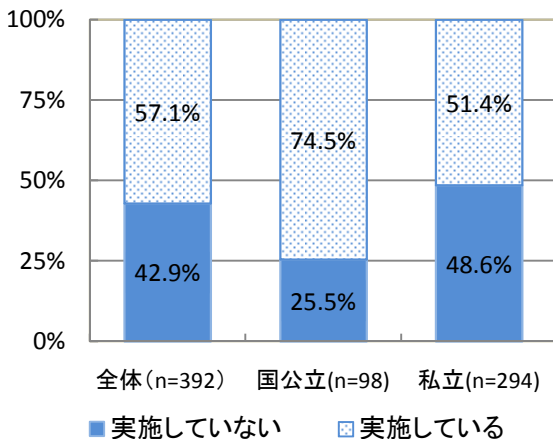


日本人学生向けグローバル人材育成のプログラム実施	全体(n=392)	国公立(n=98)	私立(n=294)	参考:前年調査
実施している	57.1%	74.5%	51.4%	51.1%
実施していない	42.9%	25.5%	48.6%	48.9%

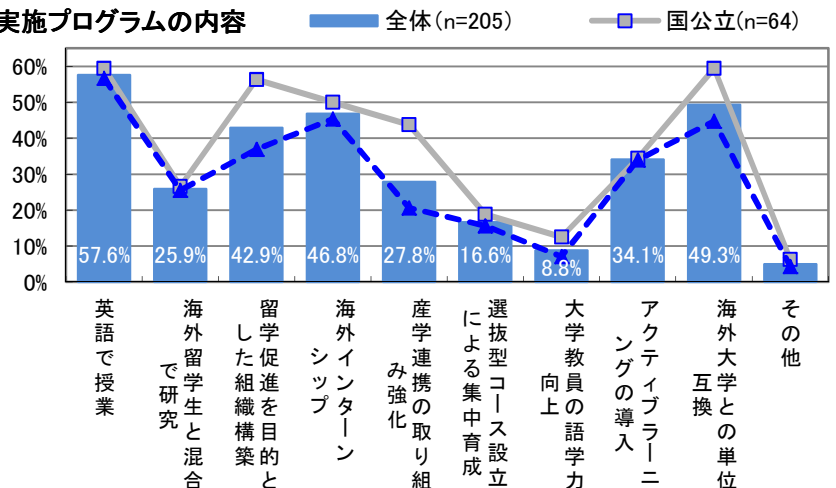
実施プログラムの内容

実施プログラムの内容	全体(n=205)	国公立(n=64)	私立(n=141)	参考:前年調査
英語で授業	57.6%	59.4%	56.7%	45.5%
海外留学生と混合で研究	25.9%	26.6%	25.5%	28.8%
留学促進を目的とした組織構築	42.9%	56.3%	36.9%	41.9%
海外インターンシップ	46.8%	50.0%	45.4%	48.5%
産学連携の取り組み強化	27.8%	43.8%	20.6%	22.2%
選抜型コース設立による集中育成	16.6%	18.8%	15.6%	12.1%
大学教員の語学力向上	8.8%	12.5%	7.1%	7.6%
アクティブラーニングの導入	34.1%	34.4%	34.0%	21.7%
海外大学との単位互換	49.3%	59.4%	44.7%	50.5%
その他	4.9%	6.3%	4.3%	13.6%

日本人学生向け人材育成プログラム実施



実施プログラムの内容



## 16) 自由記述

## 他大学との協力について 自由回答から一部抜粋

	エリア	学校区分	自由回答部分記載
合同企業説明会	東北	私立	東北地区私立大学就職セミナー
	甲信越	公立	県内大学就職研究会合同で実施。12社が参加。
	関西	私立	関西4大学でU・Iターン希望者を対象として関西・首都圏以外の企業を招いた合同説明会を実施。
	関東	私立	5大学合同企業説明会、年2回
	関東	国立	障害学生向け企業説明会
	関東	私立	企業の人事に依頼をして、芸術系大学を中心に合同で実施
グループディスカッション講座	関東	私立	関東・関西・九州の学生同士が刺激しあえる環境を設定し、実際の選考さながらのグループワークやディスカッションを実施し、合同企業セミナーにも参加する
	東海	私立	東海地区4、5大学合同のグループディスカッション講座を実施
	関西	私立	2015卒で初めて開催。模擬面接と模擬GD講座を実施。
講座	関西	私立	就職講演会(企業ではありません)を他大学に案内
	中国・四国	国立	平成25年度から県内の大学等と共催で合同の業界・企業研究会(採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナー)を2回開催した。
情報交換	中国・四国	私立	関連学園合同で、各設置校の教職員と採用担当者との情報交換会を開催。
合同合宿	中国・四国	国立	連携コラボ合宿:首都圏の大学と連携して2泊3日で行うもので、業界研究や企業訪問を行う。合同就職セミナー:高知県の4年制大学と合同でグループディスカッション等の実習を行う。

## 特徴的だった保護者からの相談 自由回答から一部抜粋

	エリア	学校区分	自由回答部分記載
保護者の傾向や現状について	九州	私立	学生以上に熱心な、また熱心すぎる保護者が多くなった気がする。
	関東	私立	親の子供に対する関わり方。
	関東	私立	親としての心構え
	東海	私立	保護者会でキャリアサポートセンター長やゼミ担任から「学生の現状を聞いて良かった」というアンケート結果が多く、情報に偏りがあると思った。
	関東	私立	就職全般に関すること、親子のコミュニケーションが取れていないケースも目立った
	中国・四国	私立	1年次の保護者の方が、早めに来て良かった。という意見が増えた。
	北海道	私立	公務員または地元就職志向の保護者が多い
大学への依頼	関東	私立	子供と「就職」に関する会話がなく指導できないので、大学から子供に積極的に情報提供してほしい(大学への依存度が増している)
	関西	私立	高い学費を払っているのだから就職させてください。
	東北	公立	「うちの子はなぜ内定がもらえないのか」「大学から特別に支援してもらえないか」
相談内容	関東	私立	美大生の就職について
	関西	私立	学生のメンタルヘルスについて
	関東	私立	学校推薦とは、どのような制度か?
	関東	私立	普通の就職が出来なければ公務員にしたいという相談
	関東	私立	低学年の保護者から、就職できるかという不安な声
	関東	私立	地方の場合はUターン就職を望む親が多い
	関東	私立	就職のために卒業延期をさせるべきかとの相談が早い時期に。
	関東	私立	子供の動向がわからない。就職できるのか?
	九州	公立	県外出身の学生の就活支援
	関東	私立	公務員への就職者および試験対策
	関西	私立	学生本人の就職に対する意識について
	関東	私立	ESの書き方 面接のコツなど就活生が聞くような質問は印象に残っています。
	東海	私立	ブラック企業の見分け方など
関東	私立	修士卒と学部卒の就職状況の違いについて(進学か就職か)	

2016年の採用広報活動時期変更に向け実施する(予定含む)施策 自由回答から一部抜粋

	エリア	学校区分	自由回答部分記載
前期	関東	私立	3年生夏インターンシップ参加促進
	東海	国立	5月にスタートガイダンスで、就職活動時期の変更に伴う影響、注意点、就職活動の進め方などを説明し、7月には学部3年、大学院1年の保護者を対象としたガイダンスを実施する予定。
	関西	私立	夏休みに就職意識を目覚めさせ、3月まで継続できるよう引きつける行事を実施(継続する)
	関東	公立	低学年次からのキャリア教育の充実、及び大学幹旋型インターンシップの拡充。
	北海道	公立	インターンシップの受け入れ先の拡大
夏休み明け	関東	私立	例年10月～1月に実施している就職セミナーの内容と時期(10月～2月)を改革。学生参加数大幅増と2月通学のくせを覚えさせたい。
	関西	私立	3年生秋学期に実施していた就職ガイダンスの内容を一部正規新設科目内で実施
	関西	私立	9月～10月の期間に企業と交流するスタディツアーや、工房等に勤めるOB,OGと交流する会を予定
12月以降	関東	私立	解禁するまでの期間は、モチベーションを下げないようにイベントを企画予定。
	関東	私立	模擬面接などのより実践的な内容を2月に集中実施。
	北海道	私立	2月(春休み期間中)に集中して直前対策を実施の予定
	関東	私立	2月の支援行事を増やす(春休み時期の活用)
	東北	私立	単発セミナーを12月～2月に実施。
	九州	私立	採用広報開始時期の後ろ倒しに伴い、例年3回実施しているガイダンスを1回増やし、4回とする。4回目のガイダンスは、1月下旬に開催する。
3月1日以降	東北	私立	4年次前期の就職ガイダンスの内容を充実させる予定。
	関東	私立	今まで年内に終了していた支援行事を次年度4月以降にも多少分散して実施する予定。
企業招致の学内イベント	甲信越	私立	学内で2月中旬に業界職種説明会を実施する予定
	九州	公立	学内担当の会社説明会の回数を増やす。
	関東	私立	倫理憲章を守らない企業もある為、ガイダンス・講座等は昨年度と同じスケジュールで実施。但し、学内企業説明会については、12月～2月に実施していたものを3月にずらす予定。
	関東	私立	各大学ごとに実施している学内企業説明会を、県内大学合同での企業説明会を実施しようと、労働局、ハローワークなどの行政と協力して計画を立てていく予定。
	甲信越	私立	OB・OGを招き、業種職種研究をする機会を増やす
	関東	私立	例年行っている就職支援行事は、原則その時期や内容を踏襲しつつ、さらに12月～2月にかけて、OB,OGから学ぶ業界・就職研究セミナーやグループディスカッション講座を設定することで、学生の春季休暇中での就職活動開始時期でも学生がスムーズに活動が始められるよう促していく。
	九州	国立	3月からの学内企業説明会
	関東	私立	合同説明会ではなく、業界研究会として開催する
その他	北陸	国立	広報活動開始時点で、学生が企業に対して自己PRや志望動機をきちんと伝えられる段階になっている必要があるため、自己分析や自己表現について個人の気づきをより促すためのグループワークを実施する予定です。
	中国・四国	公立	自己分析ワークショップの導入、就活直前ガイダンスの実施(総まとめ要素)
	関東	私立	実際の労働環境を見学するツアーを実施して、就労意欲向上のきっかけとする。
	九州	私立	2016年卒業予定者の希望進路を早期に把握、支援に結び付けるために全員と個別面談し希望進路調査を実施予定。
	関西	私立	デジタルサイネージを導入し、常に情報発信を行う
	関東	国立	英語による就職ガイダンス実施
	東北	私立	教員への周知徹底

2015卒・2016卒の就職支援についての意見 自由回答から一部抜粋

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	全体の動きをタイムリーに知らせていただきたい。
関西	私立	本学は9割以上が専門職(小学校、幼稚園、保育所、施設等)のため、就職支援については、ほぼ前年同様の日程になる予定です。
九州	私立	卒業式や入学式など(3月4月)に関連した行事、仕事が集中しており、学生への対応に不安を感じています。
九州	私立	企業等の採用活動の流れを見極めながら、臨機応変に対応していく。今後の見通しなど、情報提供を宜しくお願い致します。
関東	私立	学生の不利益にならないこと。・大学としての役割・方針を明確に持つこと。 →就活環境が良くなっているときこそ重要なことだと思います。
関西	私立	4回生の就職支援も強化する必要があります。 その情報や、2016年の企業動向もまた、情報をいただければと思います。
東海	私立	就職の学年になったから始めるのではなく、低学年から積み重ねていくキャリア教育のプログラムをじっくり検討し、実施していきたいと考えている。
関東	私立	スケジュール変更に伴い、理系学生の就職支援について情報共有頂ければ幸いです。
関西	公立	医療系の就職活動に今回の企業求人時期の変更はどう影響がでるか、不明なため、情報がありましたら、ご教示をお願いします。
関西	私立	2016年卒からの就職活動と国家試験対策準備期間に影響の懸念有。
関西	私立	各種のイベントについて、量よりも質を重視していきたい。
九州	公立	2016年卒業予定学生に対する他校の就職支援や企業の採用スケジュールなどを参考に教示いただければ幸いです。
東北	国立	就職活動に学生が振り回されないように低学年時から将来を考え慌てることなく進路選択できる力を身につけさせる必要性を感じる
関東	私立	学生が学ぶことで日本の国全体の力が上がると考えているため、企業には3月以降の採用活動の動き出しを順守してほしい。
関西	私立	業界ごとの企業の動きについて、情報提供をお願いしたいと思います。
中国・四国	国立	2016年卒の就職支援について、採用広報活動開始時期が繰り下がった事により、学生の業界・企業研究が遅れないよう対策を検討中です。
関西	国立	2016卒の就活が未知であるので、仕事観醸成のためにインターンシップを例年以上に推奨している。
関東	私立	引き続き就業力の向上を目指し、低学年からのキャリア向上、インターンシップ参加等を促進していく。
中国・四国	私立	夏に開催される1dayインターンシップ参加学生への指導に問題を抱えています。